



1976年の新宿ロフト(星海社新書 283)

平野 悠 著
星海社

1976年に新宿にオープンしたライブハウス「ロフト」のエピソードを軸に、日本のロック・ミュージックの歴史を、アーティストの素顔や業界の生々しい実情とともに明らかにする。『日刊ゲンダイ』をもとに書籍化。

産経新聞 2024/03/03、朝日新聞 2024/03/23

2024:1./ 222p
978-4-06-534787-4

¥1,540〔税込〕



福田恆存の言葉～処世術から宗教まで～(文春新書 1445)

福田 恆存 著
文藝春秋

“ゴマはうまくすれ”“近代化に呑まれるな”“エゴイズムを肯定しろ”など、戦後を代表する知識人である福田恆存の「伝説の名講演」を活字化。近代化の弊害を問い続けた、彼の思想のエッセンスが詰まった一冊。

産経新聞 2024/03/03、読売新聞 2024/03/31

2024:2./ 221p
978-4-16-661445-5

¥1,100〔税込〕



チワワ・シンドローム

大前 粟生 著
文藝春秋

全国の800人にチワワのピンバッジが付けられるチワワテロが発生。直後、想い人が失踪した。琴美は親友ミアと真相究明に乗り出し…。『別冊文藝春秋』掲載を書籍化。

産経新聞 2024/03/03、毎日新聞 2024/03/23

2024:1./ 201p
978-4-16-391798-6

¥1,650〔税込〕



老後をやめる～自律神経を整えて生涯現役～(朝日新書 940)

小林弘幸 著
朝日新聞出版

老後(=定年後の隠居生活)をやめることで人生の後半戦がどれだけ豊かになるのか、どんなことを心がければワクワクする毎日を送れるのか。医師としての知識や経験を交えつつ、超高齢社会に効く心と体の整え方を紹介する。

産経新聞 2024/03/10

2024:1./ 195p
978-4-02-295250-9

¥924〔税込〕



最後は住みたい町に暮らす～80代両親の家じまいと人生整理～

井形 慶子 著
集英社

「本当は商店街のそばで暮らしたい」母の一言から小さなマンションに出会った。実家売却、遺言書作り、家財道具を手放し、親子で目指した新たな暮らし方…。奔走した2年間を振り返る。

産経新聞 2024/03/10

2024:2./ 254p
978-4-08-781749-2

¥1,870〔税込〕





モフモフはなぜ可愛いのか～動物行動学でヒトを解き明かす～(新潮新書 1032)

小林 朋道 著
新潮社

ヒトはなぜモフモフしたものを可愛いと感じるのか。血のつながりと自爆テロとの関連は-。ヒトの特異的な行動についての 13 の質問に、動物行動学の知見をもとに鮮やかに回答し、人間の本性を解き明かす。

産経新聞 2024/03/10

2024:2./ 219p
978-4-10-611032-0

¥880〔税込〕



9 7 8 4 1 0 6 1 1 0 3 2 0



互換性の王子

栗井 脩介 著
文藝春秋

準大手飲料メーカーの御曹司、成功が別荘に監禁された。半年後に解放されるが彼のポストは異母兄・実行に奪われ、さらに実行は成功の意中の女性にも近付こうとしていた。成功は事件の真相究明と自らの復権に奔走するが...

産経新聞 2024/03/10

2023:12./ 437p
978-4-16-401007-5

¥2,090〔税込〕



9 7 8 4 1 6 4 0 1 0 0 7 5



留守にしております。

瀧村 小奈生 著
左右社

のがのならなんのこない春の日の ひっばると夜となにかが落ちてくる 高野豆腐じゅわんとあふれ出る殺気 へなちょこなかわいらしさから上質な言葉遊びまで、瀧村小奈生の魅力がいっぱい詰まった句集。

産経新聞 2024/03/10

2024:2./ 117p
978-4-86528-407-2

¥1,980〔税込〕



9 7 8 4 8 6 5 2 8 4 0 7 2



みどりいせき

大田 ステファニー 歓人 著
集英社

このままじゃ不登校んなるなあと思いながら、高2の僕は小学生の時にバッテリーを組んでた一個下の春と再会した。そしたら一瞬にして、僕は怪しい闇バイトに巻き込まれ始めた...。『すばる』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/03/10、読売新聞 2024/03/10

2024:2./ 211p
978-4-08-771861-4

¥1,870〔税込〕



9 7 8 4 0 8 7 7 1 8 6 1 4



K+ICO

上田 岳弘 著
文藝春秋

ウーバーイーツの配達員をしている K。TikToker をしている女子大生の ICO。巨大な「システム」の中に生きる二人の人生が交錯する時、何かが動きはじめる-。『文学界』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/03/10、毎日新聞 2024/03/23

2024:2./ 150p
978-4-16-391803-7

¥1,760〔税込〕



9 7 8 4 1 6 3 9 1 8 0 3 7



県警の守護神～警務部監察課訟務係～

水村 舟 著
小学館

バイクの自損事故現場で轢き逃げに遭った新人警察官の桐嶋千隼。目を覚ますとバイクの少年は死亡していた上、その責任を巡る訴訟を起こされていた。途方に暮れる桐嶋を訪れたのは、弁護士資格を持つ異例の警察官・荒城で...

産経新聞 2024/03/17

2024:1./ 350p
978-4-09-386705-4

¥1,760〔税込〕



サンリオ出版大全～教養・メルヘン・SF 文庫～

小平麻衣子、井原あや、尾崎名津子、徳永夏子 編
小平麻衣子 著

慶應義塾大学出版会

サンリオ創業者の辻信太郎と、詩人のやなせたかしが出会い、抒情とヒューマンイズムの夢をのせた出版事業が走り出す。『詩とメルヘン』『リリカ』やサンリオ SF 文庫など、1960～80年代のサンリオの多彩な文化事業に迫る。

産経新聞 2024/03/17

2024:2./ 432p
978-4-7664-2940-4

¥3,960〔税込〕



比嘉正子 GHQ に勝った愛～子どもたちの明日のために闘い抜いた人～

井上 昌子 著
浪速社

GHQ と対等な関係を築き、戦後復興と生活者のための活動をつづけた比嘉正子。政府・財界と対峙して、しなやかに誇り高く闘い抜いた原動力は、すべての人への「愛」だった。弱者たちを守るために奔走した彼女の軌跡の物語。

産経新聞 2024/03/17

2024:3./ 281p
978-4-88854-562-4

¥1,999〔税込〕



タスマニア

パオロ・ジョルダーノ 著
早川書房

ローマ在住の作家が、取材のためパリを訪れた。しかし、取材は表向きで、本当は妻とのあいだに生じた問題から目をそらすための逃避行だった。不安に衝き動かされ、作家は各地をさまよう。パリ、広島、長崎、そして-。

産経新聞 2024/03/17、朝日新聞 2024/03/23

2024:1./ 357p
978-4-15-210298-0

¥3,410〔税込〕



長篠合戦～鉄砲戦の虚像と実像～(中公新書 2785)

金子拓 著
中央公論新社

足軽鉄砲隊の一斉射撃という信長の新戦法により、武田の誇る騎馬隊が潰滅した、画期的な戦いとして知られる長篠合戦。伝来する合戦図屏風ほか、様々な関連史料を検証し、最新研究をふまえて、虚飾に彩られた決戦の実像に迫る。

産経新聞 2024/03/17、読売新聞 2024/03/17

2023:12./ 6p,247p
978-4-12-102785-6

¥990〔税込〕





正しい地図の裏側より

逢崎 遊 著
集英社

定時制高校に通いながら父に代わり働く耕一郎は、父に金を盗られ、衝動的に殴り飛ばし、故郷を逃げるように去った。しかし、金も家もない生活は長く続かず、諦めかけたその時、ホームレスの溜まり場から手が差し伸べられ...

産経新聞 2024/03/24

2024:2./ 251p
978-4-08-771863-8

¥1,870 [税込]



茶柱の立つところ

小林 聡美 著
文藝春秋

インスタグラムに現れる動物にほのぼのし、絶景に縮み上がる。キャットタワーが捨てられなくてひとり途方に暮れる...。地味でマニアックで新鮮な驚きに満ちている、「いつもの暮らし」を綴ったエッセイ集。

産経新聞 2024/03/24

2024:3./ 221p
978-4-16-391817-4

¥1,650 [税込]



ラッセンとは何だったのか?~Essays on Works and Reception of Lassen in Japan~ 増補改訂版

原田裕規、石岡良治、上田和彦、大野左紀子、大山エンリコイサム、加島卓、河原啓子、北澤憲昭、木村絵理子、暮沢剛巳、斎藤環、榎木野衣、千葉雅也、土屋誠一、中ザワヒデキ、速水健朗、星野太 著
フィルムアート社

バブル期以後、イルカやクジラをモチーフにしたリアリスティックな絵で一世を風靡したクリスチャン・ラッセン。日本のアートやカルチャーの歴史上、彼がどのように位置づけられるのかを多角的に論じる。新たな論考を追加。

産経新聞 2024/03/24

2024:2./ 270p
978-4-8459-2322-9

¥2,640 [税込]



弥生人はどこから来たのか~最新科学が解明する先史日本~(歴史文化ライブラリー 587)

藤尾 慎一郎 著
吉川弘文館

最先端科学が弥生時代のはじまりの状況を解明しつつある。炭素や酸素の同位体を用いた年代測定や核ゲノム解析、レプリカ法などの最新科学と考古学の学際研究により実像に迫り、新知見による弥生時代像を提案する。

産経新聞 2024/03/24、朝日新聞 2024/03/30

2024:3./ 8p,221p
978-4-642-05987-9

¥1,870 [税込]





火輪の翼

千葉 ともこ 著

文藝春秋

玄宗皇帝が政治を疎かにし国が乱れていた唐の時代。唐を倒さんと始まった安史の乱は泥沼化し、国は疲弊する。叛乱軍を率いる史朝義と呉笑星は、命を賭して戦を終わらせようとするが...

産経新聞 2024/03/24、日本経済新聞 2024/03/30

2024:3./ 382p
978-4-16-391814-3

¥2,200〔税込〕



9 7 8 4 1 6 3 9 1 8 1 4 3



紫式部の実像～稀代の文才を育てた王朝サロンを明かす～(朝日選書 1041)

伊井春樹 著

朝日新聞出版

藤原道長は、紫式部を一介の女房ではなく、具平親王の後ろ盾がある女性として遇していた。貴顕の人物関係を解きほぐし、王朝文化の担い手と複雑なつながりがあった紫式部のリアルな姿を描き出す。

産経新聞 2024/03/31

2024:2./ 350p
978-4-02-263131-2

¥1,980〔税込〕



9 7 8 4 0 2 2 6 3 1 3 1 2



あいにくあんたのためじゃない

柚木 麻子 著

新潮社

差別、偏見、思い込み...。他人に貼られたラベルはもういらぬ、自分で自分を取り返せ! この世を生き抜く勇気が湧く、最高最強のエンパワーメント短篇集。『小説新潮』等掲載を加筆修正。

産経新聞 2024/03/31

2024:3./ 248p
978-4-10-335533-5

¥1,760〔税込〕



9 7 8 4 1 0 3 3 5 5 3 3 5



両京十五日<1> 凶兆(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 2000)

馬伯庸 著

早川書房

15世紀の中国、明の時代。皇帝の命を受け、北京から南京に遣わされた皇太子は爆発による襲撃を受ける。さらに北京にいる皇帝も命を狙われていることを知り...。南京から北京へ向かう幾千里にもわたる決死行が始まる!

産経新聞 2024/03/31

2024:2./ 477p
978-4-15-002000-2

¥2,420〔税込〕



9 7 8 4 1 5 0 0 2 0 0 0 2



両京十五日<2> 天命(HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 2001)

馬伯庸 著

早川書房

宿敵・梁興甫との交戦によって分断された皇太子一行は、陸路と水路に分かれて北京を目指す。追手の猛攻はさらに激しくなり、次々と倒れていく仲間たち。明王朝の存亡が決まるまでに猶予は残り7日...

産経新聞 2024/03/31

2024:3./ 517p
978-4-15-002001-9

¥2,530〔税込〕



9 7 8 4 1 5 0 0 2 0 0 1 9



神と妖怪の防災学～「みえないリスク」へのそなえ～

高田 知紀 著
法律文化社

巨大地震や暴風雨などの自然災害に、地域社会はどう備えるのか。地域で語り継がれる神と妖怪の存在に着目し、「民間伝承」と「神社空間」を地域防災に活かす、実践的知見を提示する。

産経新聞 2024/03/31

2024:3./ 208p
978-4-589-04321-4

¥3,190〔税込〕



学芸員しか知らない美術館が楽しくなる話

ちいさな美術館の学芸員 著
産業編集センター

アートは役に立たない？ おすすめの鑑賞方法は？ 展示会はどうやって作っているの？ 現役学芸員が、美術館を、展示会を、そして作品そのものを楽しむためのヒントを伝える。note 連載を書籍化。

産経新聞 2024/03/31

2024:1./ 215p
978-4-86311-392-3

¥1,760〔税込〕



大平正芳の中国・東アジア外交～経済から環太平洋連帯構想まで～

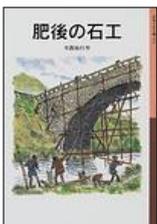
川島 真、井上 正也 著
PHPエディターズ・グループ

歴史の転換点に大平正芳はどのような舵取りを行ったのか？ 気鋭の研究者たちが、大平正芳の経済外交、地域主義、アジア外交、対中外交、対ソ外交、対中経済外交について論じる。

産経新聞 2024/03/31

2024:3./ 505p,5p
978-4-910739-50-2

¥3,300〔税込〕



肥後の石工(岩波少年文庫 78)

今西 祐行 著
岩波書店

九州地方には、江戸時代末期に、石だけで作られた美しいアーチ型の橋がある。その石橋づくりには、辛い過去と闘いながらも、命をかけて弟子たちを育てた名職人・岩永三五郎の物語が隠されていた。65年実業之日本社刊の再刊。

朝日新聞 2024/03/02

2001:2./ 240p
978-4-00-114078-1

¥847〔税込〕



食べものから学ぶ現代社会～私たちが動かす資本主義のカラクリ～(岩波ジュニア新書 980)

平賀 緑 著
岩波書店

豊かなはずの世界で「生きづらい」のは、経済学の考え方と私たちのリアルがずれているからかもしれない。食べものから、現代社会のグローバル化、巨大企業、金融化、技術革新を読み解き、資本主義のカラクリを解き明かす。

朝日新聞 2024/03/02

2024:1./ 214p
978-4-00-500980-0

¥1,034〔税込〕





ルポ 出稼ぎ 日本人風俗嬢(朝日新書 945)

松岡かすみ 著

朝日新聞出版

不法就労・国外退去のリスクを背負ってまで、なぜ彼女らは海外で身体を売ることを選ぶのか。仕事内容、出稼ぎに至る経緯などを詳細に綴り、知られざる性風俗業の「海外出稼ぎ」の実態に迫る。『週刊朝日』掲載を元に単行本化。

朝日新聞 2024/03/02

2024:2./ 236p

978-4-02-295257-8

¥957〔税込〕



黄土館の殺人(講談社タイガ アI-03)

阿津川 辰海 著

講談社

復讐相手の住む荒土館が地震で孤立。犯行が不可能になり、途方に暮れる男に、女が交換殺人を申し入れる。同じ頃、大学生になった僕は旅行先で「名探偵」の葛城と引き離され、荒土館に滞在することに…。驚愕の「館」ミステリ。

朝日新聞 2024/03/02

2024:2./ 611p

978-4-06-534728-7

¥1,320〔税込〕



わたしの証拠(ビッグ コミックス)

カレー沢 薫 著

小学館

朝日新聞 2024/03/02

2024:2./ 160p

978-4-09-862726-4

¥1,100〔税込〕



草枕 改版(新潮文庫)

夏目 漱石 著

新潮社

智に働けば角が立つー思索にかられつつ山路を登りつめた青年画家の前に現われる謎の美女。絢爛たる文章で綴る漱石初期の名作。

朝日新聞 2024/03/02

2005:9./ 242p

978-4-10-101009-0

¥473〔税込〕



徘徊タクシー(新潮文庫 さ-87-1)

坂口 恭平 著

新潮社

認知症老人の徘徊をエスコートする奇妙なタクシー会社を立ち上げた恭平と老人たちの、時空を超えたドライブを描く表題作、熊本震災に翻弄された家族の再生を探る「避難所」など3編を収録。養老孟司との対談も収録。

朝日新聞 2024/03/02

2017:3./ 206p

978-4-10-120751-3

¥506〔税込〕



黄泉がえり(新潮文庫)

梶尾 真治 著

新潮社

朝日新聞 2024/03/02

2002:11./ 476p

978-4-10-149004-5

¥781〔税込〕





構造と力～記号論を超えて～(中公文庫 あ 51-2)

浅田彰 著
中央公論新社

1980年代、ポストモダン/現代思想をはじめて明晰に体系化した名著。2020年代、混迷する世界を理解するうえで、その理論は今なお新しい。千葉雅也による解説も掲載。

朝日新聞 2024/03/02

2023:12./ 308p
978-4-12-207448-4

¥1,100〔税込〕



検察官の遺言(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 489-3)

紫金陳 著
早川書房

地下鉄で拘束された張弁護士のスーツケースに、江検察官の遺体が入っていた。犯行を認めていた張だが、初公判で自供を覆す。警察は再捜査を進める中で、死んだ江が12年前の溺死事件を追っていたことを知る…。

朝日新聞 2024/03/02

2024:1./ 397p
978-4-15-184653-3

¥1,232〔税込〕



死刑囚になったヒットマン～「前橋スナック銃乱射事件」実行犯・獄中手記～

小日向 将人/山本 浩輔 著
文藝春秋

2003年、暴力団抗争により一般人3人の尊い命が奪われた「前橋スナック銃乱射事件」。前代未聞の凶悪事件はなぜ起きたのか？ 実行犯の死刑囚が綴る手記。『文春オンライン』掲載に加筆。

朝日新聞 2024/03/02

2024:1./ 230p
978-4-16-391776-4

¥1,650〔税込〕



木にとまりたかった木のはなし 新装版

黒柳 徹子 著
河出書房新社

いろんな鳥がとまりにくる木が、ある日、「ぼくも木にとまってみたい」と言いました。鳥たちは木の願いを叶えようとみんなで木を持ち上げて…。黒柳徹子と武井武雄による絵本。

朝日新聞 2024/03/02

2023:12./ 37p
978-4-309-29370-7

¥1,980〔税込〕



椿の海の記(河出文庫 い 31-1)

石牟礼 道子 著
河出書房新社

はだしで盲目で心もおかしくなって、さまよってゆくおもかさま。みっちはその手をしっかりと握り、甘やかな記憶の海を漂う…。失われたふるさと水俣の豊穡な風景、「水銀漬」「生き埋め」にされた壮大な魂の世界がいま甦る。

朝日新聞 2024/03/02

2013:4./ 311p
978-4-309-41213-9

¥935〔税込〕





デウスの城

伊東 潤 著
実業之日本社

彦九郎と善太夫、左平次は、幼馴染のキリシタン侍。関ヶ原の戦いに敗れて主家を失い、全く別の道を進むことになった3人は、島原の乱で敵同士となり再会を果たし…。Web ジェイ・ノベル連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2024/03/02

2023:11./ 574p
978-4-408-53845-7

¥2,530〔税込〕



ヘンな矢印標識

山崎 賀功 著
自由国民社

線の曲がり方に不気味さを感じるもの、矢印の角度が特に鋭角なもの、矢印の分岐が6本以上であるもの、2つ以上の矢印標識などが同居するもの…。「指定方向外進行禁止」の特注タイプ、一風変わった矢印標識を写真で紹介する。

朝日新聞 2024/03/02

2023:11./ 141p
978-4-426-12936-1

¥1,595〔税込〕



日本思想史と現在(筑摩選書 0272)

渡辺 浩 著
筑摩書房

過去にどのようなことがあったために、いま私たちはこのように感じ、思い、考えるのか。日本思想史と現在の関わりについての問題を研究してきた碩学による、「日本」をめぐる長年の思想史探究を集成。

朝日新聞 2024/03/02

2024:1./ 323p,8p
978-4-480-01783-3

¥2,090〔税込〕



シェフ

ゴートイエ・バティステッラ 著
東京創元社

三ツ星シェフが猟銃自殺を遂げた。世界最優秀シェフに選出されたばかりだった彼がなぜ? 料理人たちの野心、苦悩、嫉妬、愛、孤独、闘い、そしてガイドブックの星の重圧…。元「ミシュランガイド」編集部員による美食小説。

朝日新聞 2024/03/02

2023:11./ 316p
978-4-488-01133-8

¥2,750〔税込〕



7月のダークライド(ハーパーBOOKS M・ハ5・2)

ルー・バーニー 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

ハードリーは、煙草の火傷跡の残る幼い姉弟を見かける。虐待の証拠を掴むため調査すると、裕福なのに荒れ果てた家と、弁護士の父親の背後にちらつく麻薬組織の影。ハードリーは幼い命を救うため壮大な賭けを仕掛けるが…。

朝日新聞 2024/03/02

2024:2./ 430p
978-4-596-53717-1

¥1,229〔税込〕





島のエアライン<上>(毎日文庫 く 1-1)

黒木 亮 著
毎日新聞出版

人口 15 万人の島の自治体が、総額 85 億円の空港建設に乗り出した。地方のハコもの事業に対する批判の中、悲願は実現するのか!? 独力で飛行機を飛ばす島の夢と苦闘を描いた実話物語。

朝日新聞 2024/03/02

2021:11./ 373p,9p
978-4-620-21038-4

¥880〔税込〕



中森明菜の音楽〜1982-1991〜

スージー鈴木 著
辰巳出版

80 年代日本の音楽界に偉大なる金字塔を打ち立て、かつ象徴的存在として君臨した中森明菜。時代的な表層現象ではなく、ただひたすら彼女が残した歌、そして音に耳を澄ませることで、「中森明菜の音楽」を真正面から捉える。

朝日新聞 2024/03/02

2023:12./ 255p
978-4-7778-2989-7

¥1,650〔税込〕



チャップリンとアヴァンギャルド

大野裕之 著
青土社

舞踊、音楽、アニメーション、ヌーヴェルヴァーグ…。喜劇王チャップリンと同時代のモダン・アートとの影響関係を検証することで、チャップリンをアヴァンギャルドを沸騰させた一人のアーティストとして捉え直す。

朝日新聞 2024/03/02

2023:12./ 295p
978-4-7917-7606-1

¥2,640〔税込〕



「日本語」の文学が生まれた場所〜極東 20 世紀の交差点〜

黒川 創 著
図書出版みぎわ

「国境」と「外地」をめぐる文学史論。20 世紀初頭の都市「東京」を諸民族が行き交う極東アジアのハブとして着目し、ここからの「日本語」文学の形成と、国境を越えて展開される言語表現の歴史を明らかにする。

朝日新聞 2024/03/02

2023:12./ 608p
978-4-911029-04-6

¥3,960〔税込〕



深海ロボット、南極へ行く〜極地探査に挑んだ工学者の 700 日〜

後藤 慎平 著
太郎次郎社エディタス

子どものころからの憧れの世界“南極”で活躍するロボットの開発依頼。水中探査ロボットの工学者が、難題をクリアしながら日本初の南極湖沼用 ROV をつくりあげ、みずから南極に赴き潜航させるまでの日々を描く。

朝日新聞 2024/03/02、朝日新聞 2024/03/09

2023:12./ 253p
978-4-8118-0864-2

¥2,090〔税込〕





頭のうえを何かが

岡崎乾二郎 著

ナナロク社

ストローク(脳梗塞)は僕にとって恩寵でした。そして深い教えでした-。造形作家・批評家の岡崎乾二郎が、脳梗塞から1ヶ月後、麻痺した右手で描いた40作以上の絵と「リハビリ記」を収録する。

朝日新聞 2024/03/02、朝日新聞 2024/03/09

2023:12./ 141p
978-4-86732-023-5

¥2,530〔税込〕



9 78 4 867 320 235



冬に子供が生まれる

佐藤 正午 著

小学館

「今年の冬、彼女はおまえの子供を産む」 その年の7月、丸田君はスマホに身におぼえがない奇妙なメッセージを受け取った。一方で、過去の記憶の断片が向こうから迫ってくるのを感じていた。『WEB きらら』連載を単行本化。

朝日新聞 2024/03/02、毎日新聞 2024/03/09、日本経済新聞 2024/03/30

2024:2./ 364p
978-4-09-386707-8

¥1,980〔税込〕



9 78 4 093 867 078



戦争語彙集

オスタップ・スリヴィンスキー 著

岩波書店

ウクライナを代表する詩人が、戦火を逃れてきた避難者の証言を聴き取り、77の単語と物語で構成した文芸ドキュメントを、ロバート キャンベルが翻訳。避難者たちの声をつぶさにたどる、翻訳者による手記も収録する。

朝日新聞 2024/03/09

2023:12./ 286p
978-4-00-061616-4

¥2,200〔税込〕



9 78 4 000 616 164



夏目漱石ファンタジア(富士見ファンタジア文庫 れ-1-1-1)

零余子 著

KADOKAWA

森鷗外による禁忌の医術を受け、樋口一葉の身体で蘇った夏目漱石。それは帝都に渦巻く闇との戦いの再開を意味した。様々な謎が見え隠れする中、協力者の筈だった野口英世が独自の思惑で動き出し…。文豪バトルファンタジー。

朝日新聞 2024/03/09

2024:2./ 334p
978-4-04-075306-5

¥792〔税込〕



9 78 4 040 753 065



中学数学で磨く数学センス～数と図形に強くなる新しい勉強法～(ブルーバックス B-2254)

花木 良 著

講談社

「数学する力」が誰でも身につく! 九九表から平面図形、多面体まで、中学数学の知識をフル活用しながら数学を楽しみ、「数学センス」を磨くための勉強法を紹介する。理系に強い子どもに育てたい親世代へのヒントも満載。

朝日新聞 2024/03/09

2024:2./ 254p
978-4-06-535130-7

¥1,100〔税込〕



9 78 4 065 351 307



戦後政治と温泉～箱根、伊豆に出現した濃密な政治空間～

原武史 著
中央公論新社

吉田茂、鳩山一郎、石橋湛山、岸信介、池田勇人。戦後のある一時期、首相たちは熱海、伊豆、箱根の温泉地で政治を行っていた。政治家や官僚の日記、書簡、回想録、新聞記事などから、知られざる日本政治の一断面を炙り出す。

朝日新聞 2024/03/09

2024:1./ 301p
978-4-12-005731-1

¥2,200〔税込〕



9 78 4120 057311



ハリケーンの子

フェルナンダ・メルチョール 著
早川書房

都市から離れた村で、外界と隔絶していた<魔女>が死んだ。村人から恐れられつつ、秘かに頼られてもいた。魔女は殺された。この村の誰かに…。荒々しくも詩的な言葉で、現代メキシコの村に吹き荒れる暴力に迫る小説。

朝日新聞 2024/03/09

2023:12./ 250p
978-4-15-210290-4

¥3,410〔税込〕



9 78 4152 102904



スペース金融道(河出文庫 み 35-1)

宮内 悠介 著
河出書房新社

人類が最初に移住に成功した太陽系外の星-通称、二番街。ぼくは新生金融の二番街支社に所属する債権回収担当者で、大手があまり相手にしないアンドロイドが主なお客だ。直属の上司はユーセフで…。新本格 SF コメディ。

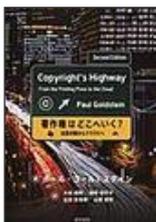
朝日新聞 2024/03/09

2024:3./ 311p
978-4-309-42088-2

¥968〔税込〕



9 78 4309 420882



著作権はどこへいく?～活版印刷からクラウドへ～

ポール・ゴールドスタイン 著
勁草書房

急速に進む技術革新の数々に、著作権はどう向き合うべきか。米国の歩んできた紆余曲折の道程は、未来への処方箋となりうるか。軽快な語り口と共に、米国著作権史を振り返り、翻弄され続ける法制度の行く末を占う。

朝日新聞 2024/03/09

2024:2./ 344p
978-4-326-45132-6

¥3,300〔税込〕



9 78 4326 451326



セックスする権利

アミア・スリニヴァサン 著
勁草書房

個人的で親密で、このうえなく政治的なセックスが、本当に自由になるには、なにが必要か。女性の欲望のありかたを、世界の「セックスの政治と倫理」を、フェミニストたちの豊かな思想的蓄積から照射するエッセイ集。

朝日新聞 2024/03/09

2023:2./ 336p
978-4-326-65439-0

¥2,970〔税込〕



9 78 4326 654390



お梅は呪いたい(祥伝社文庫 ふ 12-2)

藤崎翔 著
祥伝社

戦国大名を滅亡させた呪いの日本人形・お梅が目覚めた。興味本位の底辺ユーチューバーに引き取られたお梅は、彼を呪い殺そうとするが、500年のブランクは長すぎて、呪いが効かないどころか、心霊動画がバズってしまい…。

朝日新聞 2024/03/09

2024:2./ 284p
978-4-396-35039-0

¥792〔税込〕



最後の適当日記<仮>

高田 純次 著
ダイヤモンド社

今朝、鏡を見たら、76歳のジイさんが映っていたんで、驚いた-。高田純次が古希までの1年間を綴った日記。高田純次全仕事リストや、日記を書き上げた後の本人へのインタビュー、補足情報も掲載。

朝日新聞 2024/03/09

2024:1./ 317p
978-4-478-11772-9

¥1,430〔税込〕



温泉旅行の近現代(歴史文化ライブラリー 582)

高柳 友彦 著
吉川弘文館

温泉旅行は、どのように今日のような身近なレジャーとして定着したのか。旅行形態や費用感、交通・情報インフラなどの変遷を追い、そのなかでの温泉地の対応にも言及しつつ、江戸から現代までの温泉旅行を通史的に描く。

朝日新聞 2024/03/09

2023:12./ 7p,218p
978-4-642-05982-4

¥1,870〔税込〕



被害と加害のフェミニズム〜#MeToo 以降を展望する〜

クオンキム ヒョンヨン 著
解放出版社

性暴力に反対する運動には何が足りなかったのか、何をもっと思考すべきなのか。性差別と性暴力問題を「まともな」日常の政治として持続させるために、「#MeToo」以降の運動のあり方について考察する。

朝日新聞 2024/03/09

2023:1./ 283p
978-4-7592-6809-6

¥2,640〔税込〕



隆明だもの

ハルノ宵子 著
晶文社

吉本家は、薄氷を踏むような“家族”だった-。戦後思想界の巨人・吉本隆明の長女・ハルノ宵子が、父とのエピソードを軸に家族のことなどを綴る。吉本ばななどの「姉妹対談」も収録。「吉本隆明全集」の月報の連載等に加筆。

朝日新聞 2024/03/09

2023:12./ 293p
978-4-7949-7383-2

¥1,870〔税込〕





うつ病隠された真実～逃れるための本当の方法～

ヨハン・ハリ 著

作品社

うつ病に苦しんだジャーナリストは、病の真の原因を探し求めた。鍵となるのは、現代に生きる全ての人々が陥っている<絆>の断絶と、その再建だった。うつ病の9つの本当の原因と、克服するための7つの方法を公開する。

朝日新聞 2024/03/09

2024:2./ 6p,413p
978-4-86182-843-0

¥3,520〔税込〕



ウィッピング・ガール～トランスの女性はなぜ叩かれるのか～

ジュリア・セラノ 著

サウザンブックス社

女性性を表現する MTF のトランスジェンダーの女性がスケープゴート化されている。トランスジェンダーの女性をウィッピングし続けるメディア、アカデミズム、作家、医療体制、社会、えせフェミニズムを徹底追及する。

朝日新聞 2024/03/09

2023:5./ 430p
978-4-909125-40-8

¥2,970〔税込〕



暴力とポピュリズムのアメリカ史～ミリシアがもたらす分断～(岩波新書 新赤版 2005)

中野 博文 著

岩波書店

人民主権理念に基づいた国づくりを支え、時に反乱の母体となった「ミリシア」。憲法修正第二条を盾にする「ミリシア」から見た、現代アメリカの暴力文化とポピュリズムの起源をたどる異色のアメリカ通史。

朝日新聞 2024/03/09、日本経済新聞 2024/03/16、東京・中日新聞 2024/03/24

2024:1./ 234p
978-4-00-432005-0

¥1,034〔税込〕



ケアの倫理～フェミニズムの政治思想～(岩波新書 新赤版 2001)

岡野 八代 著

岩波書店

ひとはケアなしでは生きていけない。ではケアをするのは誰なのか。男性の論理で構築された社会のなかで、女性たちが自らの声で語り、自らの経験から編み出したフェミニズムの政治思想、ケアの倫理を第一人者が詳説する。

朝日新聞 2024/03/16

2024:1./ 342p
978-4-00-432001-2

¥1,364〔税込〕



不疑～葉室麟短編傑作選～(角川文庫 時-は 42-16)

葉室 麟 著

KADOKAWA

中国の漢の時代。不疑は、長安の知事と警察長官を兼ねる「京兆尹」に抜擢される。ある日、反乱を起こして殺されたはずの皇太子を名のる男が現れ…。初書籍化の表題作など、葉室麟が遺した渾身の作品全6編を収録する。

朝日新聞 2024/03/16

2024:1./ 285p
978-4-04-113876-2

¥792〔税込〕





地獄の三十路録<1>(BEAM COMIX)

結木 万紀子 著
KADOKAWA
朝日新聞 2024/03/16

2024:2./ 237p
978-4-04-737832-2
¥836 [税込]



経済評論家の父から息子への手紙～お金と人生と幸せについて～

山崎 元 著
学研
株式市場との付き合い方、仕事の選び方、小さな幸福論…。実際に息子へ送った手紙をもとに、働き方・稼ぎ方からお金の増やし方、「モテ」や「酒の飲み方」まで、自由に気分よく生きていくためのメッセージを綴る。

2024:2./ 190p
978-4-05-406975-6
¥1,760 [税込]



朝日新聞 2024/03/16



天災と国防(講談社学術文庫 2057)

寺田 寅彦 著
講談社
標題作「天災と国防」ほか、自らの関東大震災経験を綴った「震災日記より」、デマに対する考察「流言蜚語」など、地震・津波・火災・噴火などについての論考やエッセイ全 12 編を収録。天災について再考するための必読書。

2011:6./ 204p
978-4-06-292057-5
¥858 [税込]



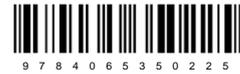
朝日新聞 2024/03/16



ローマ帝国の誕生(講談社現代新書 2737)

宮崎 麻子 著
講談社
都市国家ローマは、いかに帝国となったのか。宿敵カルタゴとの戦い、ローマ化する属州、拡大する格差、元老院政治の動揺など、地中海のグローバル化を生きた人々の実像を描く。

2024:2./ 364p
978-4-06-535022-5
¥1,320 [税込]



朝日新聞 2024/03/16



ずっと、ずっと帰りを待っていました～「沖縄戦」指揮官と遺族の往復書簡～

浜田 哲二／浜田 律子 著
新潮社
終戦直後、沖縄に散った兵士の家族に届けられた「詫び状」の送り主は、24歳で歩兵大隊を率いた青年将校だった。大隊の戦いの軌跡を辿りながら、亡くなった部下の人となり、その遺族から届いた手紙を紹介する。

2024:2./ 268p
978-4-10-355551-3
¥1,760 [税込]



朝日新聞 2024/03/16



なぜ、無実の人が罪を認め、犯罪者が罰を免れるのか～壊れたアメリカの法制度～

ジェド・S・レイコフ 著

中央公論新社

他のどの国よりも多くの人たちを刑務所送りにしているアメリカ。着実に発展を遂げてきたはずのアメリカの司法制度の暗部をえぐり出し、現実的な改善案を大胆に提示する。日本の社会や制度の問題についても示唆に富む。

朝日新聞 2024/03/16

2024:2./ 229p
978-4-12-005739-7

¥2,750 [税込]



悪將軍暗殺(文春文庫 た 113-1)

武川 佑 著

文藝春秋

万人恐怖と恐れられた將軍と、片腕を失い、未来に絶望した少女の運命が交錯する。人の運命を踏みにする本当の敵は誰か？ 室町時代が鮮やかに脳内を駆け抜ける、渾身の傑作歴史長編。

朝日新聞 2024/03/16

2024:2./ 379p
978-4-16-792173-6

¥957 [税込]



倭寇～わが天地は外海にあり～(潮文庫 た-11)

高橋 直樹 著

潮出版社

南北朝の戦いに敗れた熊野衆は、源氏の末裔・千鶴(のちのアギ・バトル)を旗頭に、いまだ南朝方が優勢な九州での再起を図るが…。時代の変革期、故郷を追われ、「海賊」と蔑まれた男たちの起死回生の物語を描く。

朝日新聞 2024/03/16

2024:1./ 294p
978-4-267-02413-9

¥1,045 [税込]



ぼくたちには「体育」がこう見える～「体育」は学びの宝庫である～

為末大 著

大修館書店

体育はあらゆることの土台になる。元陸上選手でオリンピックの為末大が、体育の可能性について、教育学者、行動遺伝学者、美術教師ら、さまざまなジャンルの人々と語り合う。『体育科教育』連載をもとに単行本化。

朝日新聞 2024/03/16

2024:2./ 10p,229p
978-4-469-26976-5

¥1,760 [税込]



つかこうへい正伝<2> 1982-1987 知られざる日々

長谷川 康夫 著

大和書房

1982年の劇団解散から、89年の「演劇活動再開」までの空白の期間、最もつかこうへいと行動を共にしていた著者が、80年代のつかの姿を生き生きと描き出す。風間杜夫・平田満との座談会、長女・愛原実花との対談も収録。

朝日新聞 2024/03/16

2024:1./ 397p
978-4-479-39418-1

¥3,300 [税込]





平成災害復興誌～新たなる再建スキームをめざして～

牧紀男 著

慶應義塾大学出版会

雲仙普賢岳噴火災害に始まり阪神・淡路大震災、東日本大震災等、未曾有の自然災害に翻弄された平成の時代。三十余年の経験はこれからの災害にいかにかに生かせるか。災害復興の軌跡から、令和の展望を開く。

朝日新聞 2024/03/16

2023:8./ 215p,6p
978-4-7664-2910-7

¥2,750〔税込〕



口の立つやつが勝つてこといいの?

頭木弘樹 著

青土社

どうしても理路整然とは話せない知人、酔うと後悔ばかり話し出す友だち、授業中に夫の死を語りつづける先生…。弱いものたちのなかにこそ、陰影のある物語は生まれてくる。文学紹介者によるエッセイ集。

朝日新聞 2024/03/16

2024:2./ 269p
978-4-7917-7599-6

¥1,980〔税込〕



中断される死～現代医療はいかに死に方を複雑にしているか～

ブレア・ビガム 著

青土社

生を全うするために、死と向き合うのを先延ばしにしてはならない。ER、ICUで経験を積み、ジャーナリストとしても活躍する医師が、歴史家や倫理学者、緩和ケア医などに取材し、死にまつわる難問にこたえる。

朝日新聞 2024/03/16

2024:2./ 327p
978-4-7917-7622-1

¥2,860〔税込〕



死因の人類史

アンドリュー・ドイグ 著

草思社

人はどのように死んできたのか? 疫病、飢餓、暴力、そして心臓、脳血管、癌…。有史以来のさまざまな死因とその変化の実相を、科学的・歴史的・社会的視点から検証。死因から世界史を読み解く人類史。

朝日新聞 2024/03/16

2024:2./ 482p
978-4-7942-2694-5

¥4,180〔税込〕



MAGNUM MAGNUM 増補改訂版

ブリジット・ラルディノワ 編

青幻舎

国際的な写真家集団「マグナム・フォト」会員の代表的写真を掲載。会員同士が互いの写真をセレクトし、テキストを寄せるという画期的な方法を試みた写真集。新たに会員となった写真家たちの作品を追加した増補改訂版。

朝日新聞 2024/03/16

2024:3./ 727p
978-4-86152-932-0

¥22,000〔税込〕





震災復興はどう引き継がれたか〜関東大震災・昭和三陸津波・東日本大震災〜

北原 糸子 著
藤原書店

関東大震災を、都市計画等のみ視点でなく、避難民・犠牲者・罹災者という“人間”に焦点をあてて描いた「関東大震災の社会史」を収録。それを中心に、近代復興の系譜を、関東大震災、昭和三陸津波、東日本大震災へと辿る。

朝日新聞 2024/03/16

2023:1./ 506p 図版 12p
978-4-86578-376-6
¥5,830〔税込〕



芦別〜炭鉱<ヤマ>とマチの社会史〜

嶋崎尚子／西城戸誠／長谷山隆博 著
寿郎社

エネルギー資源として膨大な石炭を産出し、同時に痛ましい事故・災害の犠牲も生んだ芦別。多くの人びとが芦別で働き、暮らし、炭鉱の終焉とともに去った。芦別が辿ったダイナミックな石炭産業の軌跡を豊富な写真と論考で追う。

朝日新聞 2024/03/16

2023:12./ 336p
978-4-909281-56-2
¥4,400〔税込〕



ホントのこいづみさん〜NARRATIVE〜

小泉 今日子 著
303 BOOKS

小泉今日子が、「NARRATIVE」をテーマに、宮藤官九郎、花田菜々子らゲストとともに互いの物語を語り合う。Podcast『ホントのこいづみさん』の内容を加筆訂正、再構成し書籍化。

朝日新聞 2024/03/16

2024:2./ 157p
978-4-909926-31-9
¥1,650〔税込〕



方舟を燃やす

角田 光代 著
新潮社

口さけ女はいなかった。恐怖の大王は来なかった。でも疫病が流行し、今日も戦争は続いている。オカルト、宗教、デマ、噂…。誰もが何かを信じたいこの世界で、信じることの意味を問う長篇小説。『週刊新潮』連載に加筆修正。

朝日新聞 2024/03/16、東京・中日新聞 2024/03/24

2024:2./ 425p
978-4-10-434608-0
¥1,980〔税込〕



中国農村の現在〜「14億分の10億」のリアル〜(中公新書 2791)

田原史起 著
中央公論新社

家族の発展を何より重視する精神、末端幹部たちの奮闘、裏金が飛び交う村の選挙、習近平政権が進める都市化の本当の意味…。1990年代末から中国各地の農村でフィールドワークを重ねてきた著者が、その実態に迫る。

朝日新聞 2024/03/16、日本経済新聞 2024/03/23

2024:2./ 5p,287p
978-4-12-102791-7
¥1,056〔税込〕





ジェンダー史 10 講(岩波新書 新赤版 2009)

姫岡 とし子 著

岩波書店

女性史・ジェンダー史の軌跡とその成果を紹介。史学史を振り返りつつ、家族・身体・政治・福祉・労働・戦争・植民地といったフィールドで、女性史とジェンダー史が歴史の見方をいかに刷新してきたかを論じる。

朝日新聞 2024/03/23

2024:2./ 246p
978-4-00-432009-8

¥1,056 [税込]



ドリトル先生ガラパゴスを救う～新ドリトル先生物語～

福岡伸一 著

朝日新聞出版

本家「ドリトル先生」シリーズの世界観やキャラクターを土台に紡がれる、生物学者・福岡伸一によるオリジナルストーリー。冒険物語にして、少年スタビズくんが自然や社会を知っていく成長物語。『朝日新聞』連載を加筆修正。

朝日新聞 2024/03/23

2022:7./ 405p
978-4-02-251826-2

¥1,650 [税込]



ドリトル先生アフリカへ行く～新訳～(角川文庫 口 17-1)

ヒュー・ロフティング 著

KADOKAWA

ドリトル先生は動物のことばが話せるお医者さん。ジャングルのサルの中で伝染病が広がっていると聞き、アフリカへと向かいますが…。かわいい挿絵と河合祥一郎による新訳で楽しめるドリトル先生の冒険第1弾。

朝日新聞 2024/03/23

2020:2./ 167p
978-4-04-108789-3

¥484 [税込]



乱歩殺人事件～「悪霊」ふたたび～

芦辺 拓/江戸川 乱歩 著

KADOKAWA

江戸川乱歩が昭和8年に連載開始した「悪霊」は、傑作となるはずだった。しかし、乱歩の「作者としての無力を告白」した宣言で途絶した。乱歩がぶちあげた謎を解き明かすと同時に、なぜ未完になったかに迫るミステリ。

朝日新聞 2024/03/23

2024:1./ 211p
978-4-04-114635-4

¥2,090 [税込]



三井大坂両替店～銀行業の先駆け、その技術と挑戦～(中公新書 2792)

萬代悠 著

中央公論新社

元禄4年(1691)に三井高利が開設した三井大坂両替店は、いかにして栄え、日本初の民間銀行創業へと繋がったのか。三井の膨大な史料から信用調査の技術と法制度を利用した工夫を読み解き、新たな視点で金融史を捉え直す。

朝日新聞 2024/03/23

2024:2./ 9p,270p
978-4-12-102792-4

¥1,100 [税込]





歴史に消えたパトロン〜謎の大富豪、赤星鉄馬〜(中公文庫 よ 58-2)

与那原恵 著
中央公論新社

武器商人の父の遺産で日本初の学術財団「啓明会」を設立し、芦ノ湖にアメリカからブラックバスを移入。日本ゴルフの草創期を牽引し、朝鮮半島では広大な牧場を経営…。何も書き残さず姿を消した富豪、赤星鉄馬の一生を追う。

朝日新聞 2024/03/23

2024:3./ 445p
978-4-12-207501-6

¥1,430〔税込〕



食べる西洋美術史〜「最後の晚餐」から読む〜(光文社未来ライブラリー M ミ-1-1)

宮下規久朗 著
光文社

西洋美術はなぜ食べ物や食事を描き続けてきたのか。そこに込められた意味とは。食事あるいは食物の美術表現を121点の絵画とともに振り返り、その意味を考えることによって、西洋美術史を別の角度から照らし出す。

朝日新聞 2024/03/23

2024:2./ 285p 図版 16p
978-4-334-10220-3

¥1,320〔税込〕



ナチズムの記憶〜日常生活からみた第三帝国〜(ちくま学芸文庫 ヤ 34-1)

山本 秀行 著
筑摩書房

第三帝国を回想する住民証言から現れるのは、「ナチスの時代はよい時代だった」という記憶。農村と炭鉱町での詳細なインタビュー資料を中心に、子どもや女性までもが、徐々にナチ体制に統合されていった道程をあばきだす。

朝日新聞 2024/03/23

2024:3./ 412p
978-4-480-51235-2

¥1,650〔税込〕



13歳からの地政学〜カイゾクとの地球儀航海〜

田中 孝幸 著
東洋経済新報社

大きな国の苦しい事情、絶対に豊かにならない国々、地形で決まる運不運…。高校生と中学生の兄妹と年齢不詳の男「カイゾク」との会話を通じて、国際情勢やニュースの裏側、国同士のかけひきを楽しくわかりやすく解説する。

朝日新聞 2024/03/23

2022:2./ 246p
978-4-492-44468-9

¥1,650〔税込〕



漂流する日本企業〜どこで、なにを、間違え、迷走したのか?〜

伊丹 敬之 著
東洋経済新報社

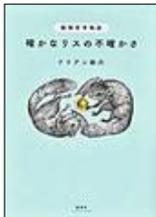
配当にカネを回して、投資を抑制して、企業は成長できるのか。日本の経済成長の低さの原因は企業の経営のあり方にあるとして、経営分析をもとに「失われた30年」の日本企業の姿を描く。日本のポテンシャルの高さにも言及。

朝日新聞 2024/03/23

2024:1./ 348p
978-4-492-50349-2

¥2,640〔税込〕





確かなリスの不確かさ〜動物哲学物語〜

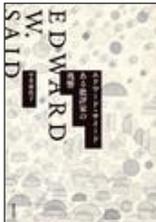
ドリアン 助川 著
集英社インターナショナル

「ここに在る」ことを自問するリス、暗闇から光の世界へ飛び出し「存在の本質」を探すコウモリ…。日本・南米の動物の生態に哲学のひとさじを加えた、明日を「生きる」意味が見える物語。『青春と読書』連載を加筆・修正。

朝日新聞 2024/03/23

2023:10./ 295p
978-4-7976-7437-8

¥1,999〔税込〕



エドワード・サイドある批評家の残響

中井垂佐子 著
書肆侃侃房

文学や音楽のみならず歴史や現実の政治など、分野をこえて論じた批評家サイド。ガザ危機が激化する今、パレスチナ問題についても果敢に発言した彼の思考の軌跡をたどりつつ、現代社会における批評の意義を問う。

朝日新聞 2024/03/23

2024:1./ 205p
978-4-86385-612-7

¥1,870〔税込〕



君はそれを認めたくないんだろう

山下賢二 著
トゥーヴァージンズ

誰もが発信者になり受け手にもなる「承認欲求の時代」に信じられるものは一体どこにあるのだろうか。京都、ホホホ座座長(元ガケ書房店主)が紡ぐ、見た記憶、考えた詩、書いた散文。特別冊子「山下賢二のこと」付き。

朝日新聞 2024/03/23

2024:1./ 207p,16p
978-4-910352-98-5

¥1,980〔税込〕



ヨーロッパ史〜拡大と統合の力学〜(岩波新書 新赤版 2003)

大月 康弘 著
岩波書店

「世界」を拡大し、統合した<力>とは何か。古代末期に源流をもつ地中海=ヨーロッパの歴史を、人びとを駆動し「近代」をも産み落とした<力>の真相とともに探究し、今日的視点から展望する。

朝日新聞 2024/03/23、毎日新聞 2024/03/30

2024:1./ 264p
978-4-00-432003-6

¥1,100〔税込〕



ぎょうざがいなくなりさがしています(講談社の創作絵本)

玉田 美知子 著
講談社

「ぎょうざがいなくなりさがしています。特徴は…」町の放送を聞いたとしおくんはびっくり。ぎょうざが消えた!? 何があったの? ぎょうざ、どうしたの? 考えをめぐらせるとしおくんでしたが…。

朝日新聞 2024/03/30

2023:8./ 32p
978-4-06-532042-6

¥1,650〔税込〕





ブラックボックス(講談社文庫 す 52-1)

砂川 文次 著
講談社

仕事を転々としてきた自転車メッセンジャーのサクマは、パートナーの妊娠をきっかけに、転職活動を始める。だが、そこに税務署の役人が現れて…。社会への言い知れない怒りと孤独、閉塞感を描く。

朝日新聞 2024/03/30

2024:2./ 196p
978-4-06-534743-0
¥682 [税込]



虎の血～阪神タイガース、謎の老人監督～

村瀬 秀信 著
集英社

プロ野球経験なしのジイさんが指揮官って、なんでやねん!? 1955年、突然の不可解な人事でチームの何かが狂い始め…。猛虎史に残る最大のミステリー、第8代監督・岸一郎の奇っ怪な真相に迫るノンフィクション。

朝日新聞 2024/03/30

2024:2./ 319p
978-4-08-790149-8
¥1,980 [税込]



アフガンの息子たち

エーリン・ペーション 著
小学館

高校を出たばかりの「わたし」は、保護者のいない難民児童が暮らす収容施設で働いている。そこで出会ったのは、たった一人で祖国から逃れてきた14歳のザーヘル、17歳のアフメドとハーミドだった…。

朝日新聞 2024/03/30

2024:2./ 175p
978-4-09-356743-5
¥1,980 [税込]



アルプス席の母

早見 和真 著
小学館

秋山菜々子は、神奈川で看護師をしながら一人息子の航太郎を育てていた。航太郎は甲子園常連校を倒すことを夢見て、大阪の新興校に進学する。菜々子もまた大阪に拠点を移すが…。『産経新聞』大阪版夕刊連載に加筆・改稿。

朝日新聞 2024/03/30

2024:3./ 351p
978-4-09-386713-9
¥1,870 [税込]



燃えつきた地図 改版(新潮文庫)

安部 公房 著
新潮社

朝日新聞 2024/03/30

2002:11./ 401p
978-4-10-112114-7
¥825 [税込]



安部公房の劇場

ナンシー・K・シールズ 著

新潮社

常に前衛でありつづけた作家・安部公房に密着し、「創造の現場」で得た貴重な〈生〉の言葉を手がかりにして、非凡な作家の創造過程の謎を解くルポルタージュ。安部公房を探究する新鮮な出発点。

朝日新聞 2024/03/30

1997:7./ 228p

978-4-10-535701-6

¥2,640〔税込〕



9 78 4105 357016



内なる辺境/都市への回路(中公文庫 あ 18-5)

安部 公房 著

中央公論新社

現代の異端の本質を考察した連作エッセイ「内なる辺境」、芸術観のすべてを語った「都市への回路」。前衛作家の創造の核心を知りうる好著の合本。著者撮影の写真も多数掲載する。

朝日新聞 2024/03/30

2019:4./ 345p

978-4-12-206437-9

¥1,100〔税込〕



9 78 4122 064379



行く手、はるかなれど〜グスタフ・ヴァーサ物語〜

菱木晃子 著

徳間書店

16世紀初め、人質として囚われていたデンマークを脱出し、故郷スウェーデンに戻った若者が知ったのは…。スウェーデン建国の父、グスタフ・ヴァーサの若き日に焦点をあて、孤立無援の若者が人生を切り拓いていく姿を描く。

朝日新聞 2024/03/30

2024:1./ 174p

978-4-19-865767-3

¥1,650〔税込〕



9 78 4198 657673



どーん、じゃんけんぽん!(世界文化社のワンダー絵本)

ひがし ちから 著

世界文化社

丸太の上からおりず、まっすぐ進んで出会ったらじゃんけん。勝ったら進む、負けたらおる「どーん、じゃんけん」。かんちゃんとゆいちゃんが「よーい、どん!」で始めると、かんちゃんのむこうからやってきたのはきつねで…。

朝日新聞 2024/03/30

2024:3./ 24p

978-4-418-24800-1

¥1,540〔税込〕



9 78 4418 248001



百年と一日(ちくま文庫 し 49-2)

柴崎 友香 著

筑摩書房

地下街にはたいてい噴水が数多くあり、その地下の噴水広場は待ち合わせ場所で、何十年前も、数年後も、誰かが誰かを待っていた。人生と時間を描く新感覚物語集。1篇を増補し文庫化。

朝日新聞 2024/03/30

2024:3./ 230p

978-4-480-43943-7

¥792〔税込〕



9 78 4480 439437



世にもあいまいなことばの秘密(ちくまプリマー新書 442)

川添 愛 著

筑摩書房

「冷房を上げてください」「私には双子の妹がいます」「2日、5日、8日の午後が空いています」...。言葉のすれ違いの事例をもとに、言葉の複雑さや面白さを紹介する。問題とその答えも掲載。

朝日新聞 2024/03/30

2023:12./ 231p
978-4-480-68468-4

¥990〔税込〕



君主制とはなんだろうか(ちくまプリマー新書 450)

君塚 直隆 著

筑摩書房

ファラオ、女王、天皇らが統治する「君主制」。この世界最古の政治制度がわかると、世界史がもっとおもしろくなる! 君主の誕生から革命を経て、現代まで、君主たちの5000年史を一望する。

朝日新聞 2024/03/30

2024:3./ 255p
978-4-480-68477-6

¥990〔税込〕



潜水鐘に乗って

ルーシー・ウッド 著

東京創元社

48年ぶりに夫と再会するため、旧式の潜水鐘で海にはいって行く老婦人、身体が石になる予兆を感じた女性が過ごす最後の一日...。伝説や伝承がいまなお息づく現代の英国コーンウォール地方を舞台にした12の物語。

朝日新聞 2024/03/30

2023:12./ 301p
978-4-488-01132-1

¥2,970〔税込〕



科学文明の起源～近代世界を生んだグローバルな科学の歴史～

ジェイムズ・ボスケット 著

東洋経済新報社

科学革命は大陸を越えた文化交流と、古今東西の知られざる科学者のたゆまぬ努力から誕生した。近代科学の歴史を、アステカの宮殿やオスマン帝国の天文台から、インドの研究室や中国の大学へと、世界中でたどる。

朝日新聞 2024/03/30

2023:12./ 566p
978-4-492-80095-9

¥3,520〔税込〕



ソリアを森へ～マレーグマを救ったチャーンの世界～

チャン・グエン 著

鈴木出版

野生動物を守る活動をしているチャーンは、生後2週間で親をうばわれたマレーグマの女の子、ソリアを育て...。ベトナムの自然保護活動家の若き日の活動にもとづく自伝的グラフィックノベル。

朝日新聞 2024/03/30

2024:1./ 119p
978-4-7902-5440-9

¥1,870〔税込〕





ラブレターの書き方

布施琳太郎 著
晶文社

ラブレターの書き方を考える第一の理由は、ソーシャルメディアが浸透した社会において「二人であることの孤独」を創出するためである。若きアーティスト・布施琳太郎による SNS 時代の恋愛・制作・人生論。

朝日新聞 2024/03/30

2023:12./ 340p
978-4-7949-7403-7

¥2,200〔税込〕



メディアエコロジー～端末市民のゆくえ～

桂 英史 著
左右社

ポスト・メディアという観点から、インターネットの暴力性、「知る/伝える」をめぐるエコロジー(生態学)の必要性、連帯意識の変容などを探求する。「LOOP」掲載などを大幅改稿し、書き下ろしを加える。

朝日新聞 2024/03/30

2024:1./ 381p
978-4-86528-393-8

¥3,520〔税込〕



のち更に咲く

澤田 瞳子 著
新潮社

藤原道長の栄華を転覆させようと都を暗躍する盗賊たち。盗賊の首魁が死んだはずの兄だと聞いた道長邸勤めの女房・小紅は、盗賊の正体を追い始める。やがて王朝を脅かす秘密へと辿り着き…。『小説新潮』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2024/03/02

2024:2./ 351p
978-4-10-352832-6

¥2,200〔税込〕



体罰と日本野球～歴史からの検証～

中村 哲也 著
岩波書店

日本のスポーツにおける体罰の問題。歪んだ構造はいつ発生し、なぜ広がっていったのか。日本の代表的スポーツである野球の歴史をたどりながら、膨大な史料を駆使し実証的に考察。体罰なきスポーツ界に向けて具体的に提言する。

東京・中日新聞 2024/03/03

2023:12./ 260p
978-4-00-061622-5

¥2,750〔税込〕



書くことの不純

角幡唯介 著
中央公論新社

生死の瀬戸際で、もう一人の自分が囁く「もっと面白くしよう」という誘い。冒険家・角幡唯介が、「書くということ」「生きるということ」の意味を問い直す。『中央公論』連載に加筆・修正。

東京・中日新聞 2024/03/03

2024:1./ 251p
978-4-12-005737-3

¥1,760〔税込〕





タバコの煙、旅の記憶(わたしの旅ブックス 051)

丸山ゴンザレス 著
産業編集センター

銃密造工房で、パリの地下空間で、独房のようなNYの安宿で…。危険地帯ジャーナリストの旅と取材の相棒はいつもタバコだった。険の裏に残る“煙のあった風景”をたぐりよせ紡いだエッセイ。『ケムール』連載を再編集。

東京・中日新聞 2024/03/03

2024:1./ 222p
978-4-86311-394-7

¥1,430〔税込〕



酒井定吉とその時代～共産主義者の星霜～

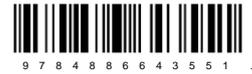
酒井 誠 著
知道出版

共産党員として投獄され、敗戦まで15年の獄中生活を送った父・酒井定吉。中国へ留学し、毛沢東思想に傾倒したことで父と激しく対立した息子誠が、断絶したまま逝った父の風雪に耐え抜いた生涯を綴る。

東京・中日新聞 2024/03/03

2024:1./ 388p
978-4-88664-355-1

¥2,530〔税込〕



六〇代は、きものに誘われて～オトナのための「なりたいわたし」へ～

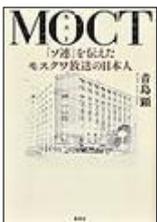
三砂 ちづる 著
亜紀書房

琉球紜、結城紜、大島紜などの自然素材を求め、ミンサー帯や藍型、うしんちーに行き着いた。40代の半ばから20年、毎日きもので教壇に立った大学教授が、きものに惹かれて縁を重ねる、60代からの新しい人生を綴る。

東京・中日新聞 2024/03/09

2024:1./ 169p 図版 16p
978-4-7505-1829-9

¥1,870〔税込〕



MOCT～「ソ連」を伝えたモスクワ放送の日本人～

青島 顕 著
集英社

東西冷戦下、モスクワから発信される日本語放送。その業務を担っていた日本人たちはどんな人物だったのか。何を目的としていたのか。ラジオを通して隣国の一面を伝えた人たちの物語。『毎日新聞』掲載を大幅に加筆・再構成。

東京・中日新聞 2024/03/10

2023:11./ 261p
978-4-08-781747-8

¥1,980〔税込〕



レッド・アロー

ウィリアム・ブルワー 著
早川書房

デビュー作で思わぬ反響を呼んだ作家。次作の契約が決まるも原稿は1文字も進まず、前金は旅行に消えた。ある物理学者の回想録ゴーストライターの仕事が決まるも学者は失踪…。窮地に立たされた作家の精神世界を巡る長篇。

東京・中日新聞 2024/03/10

2024:1./ 327p
978-4-15-210305-5

¥2,970〔税込〕





古本大全(ちくま文庫 お34-11)

岡崎 武志 著
筑摩書房

ブックオフやネット販売の登場、中央線新世代古本屋の活躍、突然のコロナ騒動…。古本を愛しすぎる著者が、業界の変化と動向のあれこれを綴る。単行本未収録原稿も多数収録した文庫オリジナルの古本エッセイ集。

東京・中日新聞 2024/03/10

2024:1./ 425p,3p
978-4-480-43934-5

¥1,100〔税込〕



ブラック・ショーマンと覚醒する女たち

東野圭吾 著
光文社

亡き夫から莫大な遺産を相続した女性の前に、絶縁した兄が現れ「あんたは偽者だ」といいます。それを聞いていた元マジシャンのバーのマスターは驚くべき謎解きを披露し…。マスターと、彼の魔術で変貌を遂げる女性たちの物語。

東京・中日新聞 2024/03/16

2024:1./ 347p
978-4-334-10182-4

¥1,980〔税込〕



変な家<2> 11の間取り図

雨穴 著
飛鳥新社

あなたは、この「11の間取り」の謎が解けますか？フリーライターの著者と設計士・栗原のコンビが不可解な間取りの謎に挑む。YouTubeで人気の間取りミステリー第2弾。

東京・中日新聞 2024/03/16

2023:12./ 435p
978-4-86410-982-6

¥1,650〔税込〕



家なき人のとなりで見える社会

小林 美穂子 著
岩波書店

コロナ禍を経て状況は変わったか？福祉行政は多くの人の命と生活を守るようになったか？生活困窮者支援14年の著者が、苦闘と希望ないまぜの日々を綴る。ウェブマガジンなど掲載を大幅に加筆修正。

東京・中日新聞 2024/03/17

2023:12./ 190p
978-4-00-061624-9

¥2,090〔税込〕



江藤淳はいかに「戦後」と闘ったのか

風元正 著
中央公論新社

天才的頭脳、喧嘩、結核、そして真実を熱愛する心。反近代的詩人になれぬ近代的散文家、江藤淳。「孤高の批評家」の激動の人生を通して描く戦後日本精神史。『boidマガジン』掲載を加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2024/03/17

2024:2./ 283p
978-4-12-005751-9

¥2,750〔税込〕





百鬼大乱

真保 裕一 著
講談社

応仁の乱に先駆けること13年、鎌倉公方が関東管領を殺害。血みどろの戦国時代が幕を開ける。命がけで公方を守る築田持助、管領上杉家を支える太田道灌。両者の才知をつくした戦いを活写する。

東京・中日新聞 2024/03/23

2023:8./ 348p
978-4-06-532673-2

¥1,980〔税込〕



「植物の香り」のサイエンス～なぜ心と体が整うのか～(NHK出版新書 716)

塩田 清二、竹ノ谷 文子 著
NHK出版

ストレスや不安の軽減、脳機能の向上、治りづらい疾患の緩和・予防…。植物の香りにはなぜ、心身のコンディションに良い影響を与えるのか。医療現場でも取り入れられている具体的な効能を、最新研究に基づいて解説する。

東京・中日新聞 2024/03/23

2024:3./ 212p
978-4-14-088716-5

¥1,078〔税込〕



大災害とラジオ～共感放送の可能性～

大牟田 智佐子 著
ナカニシヤ出版

いつものパーソナリティーの声が聞こえてほっとした…。災害時にラジオが求められるのはなぜか。ラジオがリスナーと築く連帯感、共感性を軸に、災害放送においてラジオが果たすべき役割を解明する。

東京・中日新聞 2024/03/24

2024:2./ 8p,284p
978-4-7795-1769-3

¥3,520〔税込〕



平安かな書道入門～古筆の見方と学び方～

根本 知 著
雄山閣

平安かな書道の特徴を学ぶのに適した基礎的な古筆を取り上げ、用具・用材から筆の持ち方、変体仮名まで、その見方や学び方を丁寧に解説。変体仮名一覧表、散らし書き参考作品も収録する。

東京・中日新聞 2024/03/30

2023:12./ 103p
978-4-639-02945-8

¥2,420〔税込〕



どちら様も、お先でございます

三遊亭好楽／松垣 透 著
彩流社

楽しい話題で常にその場にいるみんなを気持ち良く、楽しく、明るい気分にさせてくれる。元新聞記者が、私淑する落語家・三遊亭好楽に人生の楽しみ方を教わった、聞き書きによる人生指南録。

東京・中日新聞 2024/03/30、日本経済新聞 2024/03/30

2024:2./ 282p
978-4-7791-2950-6

¥2,750〔税込〕





道長ものがたり～「我が世の望月」とは何だったのか～(朝日選書 1039)

山本淳子 著

朝日新聞出版

平安時代を代表する権力者・藤原道長は、どんな思いで生き、死んでいったのか。「御堂関白記」「小右記」「紫式部日記」「枕草子」「栄花物語」「大鏡」などをひもときながら、道長のこころの<ものがたり>を照らす。

読売新聞 2024/03/03

2023:12./ 6p,307p
978-4-02-263129-9

¥1,870〔税込〕



9 78 40 22 63 12 99



月夜の森の梟(朝日文庫 こ 44-1)

小池真理子 著

朝日新聞出版

作家夫婦は病と死に向きあい、どのように過ごしたのか。残された著者は、過去の記憶の不意うちに苦しみ、その後を生き抜く。心の底から生きることを励ます喪失エッセイ。林真理子の解説も収録。

読売新聞 2024/03/03

2024:2./ 191p
978-4-02-265137-2

¥770〔税込〕



9 78 40 22 65 13 72



ラストエンペラー

榎 周平 著

KADOKAWA

電気自動車全盛の時代が目前に迫っていた。大手自動車メーカー・トミタの社長、村雨は、後世に残るガソリンエンジン車として、最高級車種「エンペラー」の新型モデルの開発を決意するが…。『日刊ゲンダイ』連載を加筆修正。

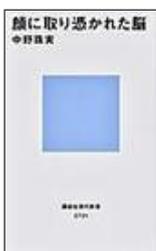
読売新聞 2024/03/03

2023:12./ 263p
978-4-04-112768-1

¥1,980〔税込〕



9 78 40 41 12 76 81



顔に取り憑かれた脳(講談社現代新書 2731)

中野 珠実 著

講談社

人はなぜ顔写真を加工するのか。そのカギは脳の働きにある。脳科学や心理学、人工知能などの情報科学に焦点を当てながら、「顔」と「脳」の密接で精巧な関係を紹介。それらが自己意識の形成にまで影響を与えることを論じる。

読売新聞 2024/03/03

2023:12./ 247p
978-4-06-533872-8

¥1,078〔税込〕



9 78 40 65 33 87 28



鳶重(講談社文庫 よ 48-2)

吉森 大祐 著

講談社

喜多川歌麿、東洲斎写楽、恋川春町…。鋭い閃きと大胆な企てで時代を切り拓いた稀代の出版プロデューサー・鳶屋重三郎が世に送り出した表現者たちの光と影を描いた連作短編集。

読売新聞 2024/03/03

2024:1./ 282p
978-4-06-534367-8

¥781〔税込〕



9 78 40 65 34 36 78



みずうみ 新版(新潮文庫 か-1-13)

川端 康成 著
新潮社

高校教師の銀平は、教え子の久子と密かに愛し合うようになる。だが、ふたりの幸福は長くは続かなかった…。初恋の従姉、蛍狩りに訪れた少女など、銀平が思いを寄せた女性たちの面影や情景が連想されていく“問題作”。

読売新聞 2024/03/03

2023:1./ 192p
978-4-10-100247-7
¥605〔税込〕



成瀬は信じた道をいく

宮島 未奈 著
新潮社

知らぬ間に多くの人に影響を与えながら、我が道を突き進む成瀬あかり。幼馴染の島崎が故郷に帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており…!? 「成瀬は天下を取りにいく」の続編。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2024/03/03

2024:1./ 199p
978-4-10-354952-9
¥1,760〔税込〕



メンタル脳(新潮新書 1024)

アンデシュ・ハンセン／マッツ・ヴェンブラード 著
新潮社

なぜ不安を感じるのか？なぜ孤独と SNS がメンタルを下げるのか？脳科学からメンタルの問題を解説した世界的ベストセラー「ストレス脳」を、あらゆる世代向けにコンパクトにした<心の取説>。

読売新聞 2024/03/03

2024:1./ 206p
978-4-10-611024-5
¥1,100〔税込〕



風に立つ

柚月裕子 著
中央公論新社

家庭裁判所に送られてきた少年を預かる補導委託の引受を突然申し出た、南部鉄器職人の父・孝雄。父の行動に戸惑う悟。少年と工房で共に働くうち、悟の心にも少しずつ変化が訪れて…。『読売新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2024/03/03

2024:1./ 406p
978-4-12-005728-1
¥1,980〔税込〕



ワンダフル・ライフ(光文社文庫 ま 29-1)

丸山正樹 著
光文社

事故で重度の障害を負った妻を自宅で介護する「わたし」。なんのために、こんな生活を続けているのか…。「わたし」の物語と、さまざまな悩みを抱える男女の物語が絡み合い、繋がる時、慟哭の真実が明かされる。

読売新聞 2024/03/03

2024:1./ 384p
978-4-334-10190-9
¥858〔税込〕





愚者・奇術師(アルケミスト双書 タロットの美術史 1)

鏡 リュウジ 著

創元社

15世紀のイタリアで誕生し、現代の人々を魅了し続けるタロット。「愚者」「奇術師」のカードの源流をたどり、その元型的な広がりを感じられる絵画作品にリンクを見出す。

読売新聞 2024/03/03

2024:1./ 63p
978-4-422-70161-5

¥1,650〔税込〕



ヒッタイト帝国～「鉄の王国」の実像～(PHP新書 1376)

津本 英利 著

PHP研究所

鉄器を最初につくったと言われ、エジプトと互角に戦った古代民族ヒッタイト。その建国から帝国の滅亡、彼らの文化や暮らしぶりまでを、最新の発掘調査の成果を踏まえつつ紹介。謎の古代帝国の全貌に迫る。

読売新聞 2024/03/03

2023:11./ 270p
978-4-569-85457-1

¥1,265〔税込〕



玄奘三蔵がつなぐ中央アジアと日本

近本謙介／影山悦子 編

臨川書店

玄奘が旅した中央アジアに関する論考から、旅行記や伝記が伝える信仰、帰国後に行った訳経の影響、後の時代のトルファン、敦煌、日本に残された記憶まで。玄奘の遺産を幅広く解説する。名古屋大学国際ワークショップの成果。

読売新聞 2024/03/03

2023:12./ 370p,2p
978-4-653-04559-5

¥5,940〔税込〕



警官の酒場～道警・大通警察署～(『道警シリーズ』[11])

佐々木 譲 著

角川春樹事務所

佐伯宏一は度重なる警部昇進試験受験の説得に心が揺れていた。その頃、競走馬の育成牧場に強盗に入った4人は家人を撲殺してしまう。男たちは札幌方面に逃走を図り…。道警シリーズ。『ランティエ』連載を加筆・訂正。

読売新聞 2024/03/03

2024:2./ 409p
978-4-7584-1454-8

¥1,980〔税込〕



時評書評～忖度なしのブックガイド～

豊崎由美 著

教育評論社

純文学から社会・政治・エンタメまで、コロナ禍の混迷した時代のさまざまな時事ネタを、舌鋒鋭く論じつつ、忖度なしの書評で紹介する。『QJ Web』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2024/03/03

2023:11./ 333p
978-4-86624-088-6

¥1,980〔税込〕





母の最終講義

最相葉月 著
ミシマ社

あの介護の日々は、母から私への教育だった。両親の介護と別れまでの日々を軸に、取材で出会った人々や旅のこと、失敗談などをまとめたエッセイ集。

読売新聞 2024/03/03

2024:1./ 172p
978-4-909394-99-6

¥1,980〔税込〕



カワセミ都市トーキョー〜「幻の鳥」はなぜ高級住宅街で暮らすのか〜(平凡社新書 1049)

柳瀬 博一 著
平凡社

一度東京から消えた“清流の宝石”=カワセミが都内の超一等地を選んで子育てするようになった理由とは？ ヒトもカワセミも大好きな地形「小流域源流」をカギに、カワセミがなぜ人工都市東京に戻ってきたのかを解き明かす。

読売新聞 2024/03/03、朝日新聞 2024/03/09

2024:1./ 302p
978-4-582-86049-8

¥1,210〔税込〕



手塚治虫の歴史教室

手塚治虫 著
いそっぷ社

古代の遺跡・酒船石の謎に迫る「三つ目がとおる」、国号「日本」が成立した背景を読み解く「火の鳥・太陽編」など手塚治虫の歴史漫画7本を収録。「古事記」研究の第一人者・三浦佑之が現代の歴史学から考察した解説つき。

読売新聞 2024/03/03、朝日新聞 2024/03/16

2024:1./ 327p
978-4-910962-05-4

¥1,870〔税込〕



拒否戦略〜中国覇権阻止への米国の防衛戦略〜

エルブリッジ・A・コルビー 著
日経BP社

中国の覇権奪取の動きに対抗するための「拒否戦略」を明快な論理構成で描き出す。米国が中国との戦争に勝つためにどのような準備をすべきか、また、適切な戦略の構築が戦争の回避、適切な平和につながることを説く。

読売新聞 2024/03/03、日本経済新聞 2024/03/23

2023:12./ 529p
978-4-296-11729-1

¥3,850〔税込〕



10代のうちに考えておきたいジェンダーの話(岩波ジュニア新書 979)

堀内 かおる 著
岩波書店

すべての人が自分らしくいられるために、今何が必要なのか。社会はどうあるべきなのか。<社会的につくられる性別概念>であるジェンダーから見えてくる現代社会の様相を取り上げ、ジェンダーとは何かを明らかにする。

読売新聞 2024/03/10

2023:12./ 206p
978-4-00-500979-4

¥990〔税込〕





桃太郎のユーウツ

玄侑宗久 著
朝日新聞出版

復興住宅に住む老人がこだわる「火男おどり」、近未来<独り暮らし基本法>施行下で命の交流を問う「繭の家」…。福島在住の僧侶作家が震災、コロナ禍のもとで、大きなユーウツと見え隠れする希望を描く6つの作品集。

読売新聞 2024/03/10

2023:12./ 254p
978-4-02-251950-4

¥1,980〔税込〕



狂人日記(講談社文芸文庫)

色川 武大 著
講談社

狂気と正気の間を激しく揺れ動きつつ、自ら死を選ぶ男の凄絶なる魂の告白の書。現代人の彷徨う精神の行方を見据えた著者の、読売文学賞を受賞した最後の長篇小説。

読売新聞 2024/03/10

2004:9./ 311p
978-4-06-198381-6

¥1,540〔税込〕



52 ヘルツのクジラたち(中公文庫 ま 55-1)

町田そのこ 著
中央公論新社

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

読売新聞 2024/03/10

2023:5./ 314p
978-4-12-207370-8

¥814〔税込〕



旅をする木(文春文庫)

星野 道夫 著
文芸春秋

広大な大地と海に囲まれ、正確に季節がめぐるアラスカで暮すエスキモーや白人たちの生活を独特の味わい深い文章で描くエッセイ集

読売新聞 2024/03/10

1999:3./ 241p
978-4-16-751502-7

¥704〔税込〕



不揃いの木を組む(文春文庫 お 55-2)

小川 三夫／塩野 米松 著
文藝春秋

「他人のことより自分を見つめろ」「よけいな知恵を捨てまっさらな心に」など、多くの後進を育てた宮大工の親方の金言の数々。人を育てるとは何か？ 全ての働き学ぶ人の心に響く言葉を紹介。

読売新聞 2024/03/10

2012:3./ 255p
978-4-16-780178-6

¥691〔税込〕





ユリイカの宝箱～アートの島と秘密の鍵～(文春文庫 い 112-1)

一色 さゆり 著

文藝春秋

求職活動中の優彩のもとに「アート旅」のモニター参加の招待状が届く。ツアーガイドに導かれ、瀬戸内海の直島の美術館を巡るうち、生きるヒントが見えてきて…。アートと旅をめぐる連作短編集。全4編を収録。

2024:1./ 213p
978-4-16-792158-3

¥770〔税込〕



読売新聞 2024/03/10



蝶ネクタイ先生の飲み食い談義(河出文庫 た 54-1)

高橋 義孝 著

河出書房新社

酔って醜態をさらしても、それも消し去りがたいわれわれの人生の一齣ではないか。内田百間の弟子にして、山口瞳の師である江戸っ子名随筆家による、けれん味のない食と酒の思い出を集成。

2024:2./ 275p
978-4-309-42084-4

¥990〔税込〕



読売新聞 2024/03/10



森林通信～鷗外とベルリンに行く～

伊藤比呂美 著

春陽堂書店

ベルリンは街だとか都市だとか思っていた。大間違いだった。ベルリンはひとつの大きな森だった。森の中に埋没していた。森鷗外の留学したベルリンを訪れ、書き留めた私小説。『Web 新小説』連載に加筆、改稿。

2023:12./ 190p
978-4-394-77010-7

¥1,980〔税込〕



読売新聞 2024/03/10



三淵嘉子と家庭裁判所

清永 聡 著

日本評論社

日本初の女性弁護士、初の女性裁判所長であり、家庭裁判所創設にもかかわった三淵嘉子。彼女の歩んだ人生と、家裁の黎明期にかかわり、「愛の裁判所」をめざした足跡を、評伝と証言で綴る。

2023:12./ 11p, 142p
978-4-535-52745-4

¥1,320〔税込〕



読売新聞 2024/03/10



エルメス～スカーフの魅力とその物語～(フォト・ヒストリー)

ライア・ファラン・グレイヴス 著

原書房

エリザベス女王やグレース・ケリーなど、セレブにも愛されたエレガンスの象徴ともいえるエルメスのスカーフはどのように作られているのか。時代を超越する「カレ」の独自性と美しさの秘密に迫る。

2024:1./ 162p
978-4-562-07379-5

¥3,850〔税込〕



読売新聞 2024/03/10



伊達女(PHP 文芸文庫 さ 8-1)

佐藤 巖太郎 著
P H P 研究所

“独眼竜”にして奥州の覇者、伊達政宗の周囲には、たくましく、そしてたおやかな女性たちがいた。母・義姫、妻・愛姫、娘・五郎八姫ら波瀾の戦国の世を、凛と生き抜いた伊達の女を主人公にした連作短編小説集。

読売新聞 2024/03/10

2024:1./ 293p
978-4-569-90371-2

¥946〔税込〕



世界のねこことわざ

noritamami 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

猫のように足から落ちる(スペイン)、角の生えた猫を持つ(インドネシア)、猫も茶を飲む(日本)...。世界中から集めた「猫」が出てくることわざを、かわいい猫の写真とともに紹介する。豆知識も掲載。

読売新聞 2024/03/10

2024:1./ 125p
978-4-596-53453-8

¥1,540〔税込〕



コーヒーが冷めないうちに

川口 俊和 著
サンマーク出版

結婚を考えていた彼氏と別れた女、記憶が消えていく男と看護師、家出した姉とよく食べる妹...。過去に戻れる喫茶店「フニクリフニクラ」を訪れた4人の女性たちが紡ぐ、家族と、愛と、後悔の物語。

読売新聞 2024/03/10

2015:12./ 348p
978-4-7631-3507-0

¥1,430〔税込〕



運転者〜未来を変える過去からの使者〜

喜多川 泰 著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

なんで俺ばかりこんな目に合うんだよ-。思わず独り言を言った、そのときだ。ふと目の前に、タクシーが近づいてくるのに気づき...。運が劇的に変わる時、場というもの、人生にはある。運を転ずる者からのメッセージ。

読売新聞 2024/03/10

2019:3./ 239p
978-4-7993-2450-9

¥1,870〔税込〕



戦史の余白〜三十年戦争から第二次大戦まで〜

大木 毅 著
作品社

三十年戦争、アメリカ独立戦争、ナポレオンのロシア遠征、山本五十六の知られざる秘話...。戦史・軍事史のさまざまな側面をからめ手から描き出したユニークな戦史。『コマンドマガジン』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2024/03/10

2023:12./ 233p
978-4-86793-010-6

¥2,200〔税込〕





心理学を遊撃する～再現性問題は恥だが役に立つ～

山田 祐樹 著
ちとせプレス

研究が再現されない!? 心理学の屋台骨を揺るがす再現性問題が勃発。どのような課題があるのか、攻略する糸口とは。チャンスがうかがい試行錯誤しながら、さまざまな課題にアプローチしていくひとりの研究者のドキュメント。

読売新聞 2024/03/10

2024:1./ 8p,226p
978-4-908736-35-3

¥2,860〔税込〕



ルソーからの問い、ルソーへの問い～実存と補完のはざままで～

熊谷 英人 著
吉田書店

人類に真の「幸福」をもたらす秩序とは。ルソーの思想の本質を解き明かしたうえで、ゲンツ、ニーブーア、トクヴィル、林達夫、福田歓一など、「ルソー的なるもの」に魅せられながらも対峙した知識人たちの軌跡をたどる。

読売新聞 2024/03/10

2023:12./ 442p
978-4-910590-16-5

¥4,180〔税込〕



冷戦史<上> 第二次世界大戦終結からキューバ危機まで(中公新書 2781)

青野利彦 著
中央公論新社

第二次世界大戦後、アメリカ中心の西側陣営とソ連中心の東側陣営が対立し冷戦が勃発。その冷戦を、世界的な視野から俯瞰する通史。上巻では、1962年のキューバ・ミサイル危機で核戦争寸前に至るまでを描く。

読売新聞 2024/03/10、日本経済新聞 2024/03/16

2023:12./ 4p,264p
978-4-12-102781-8

¥990〔税込〕



冷戦史<下> ベトナム戦争からソ連崩壊まで(中公新書 2782)

青野利彦 著
中央公論新社

第二次世界大戦後、アメリカ中心の西側陣営とソ連中心の東側陣営が対立し冷戦が勃発。その冷戦を、世界的な視野から俯瞰する通史。下巻では、ベトナム戦争の混迷、デタントから新冷戦、ゴルバチョフ登場と冷戦終結までを描く。

読売新聞 2024/03/10、日本経済新聞 2024/03/16

2023:12./ 248p
978-4-12-102782-5

¥968〔税込〕



百人一首～編纂がひらく小宇宙～(岩波新書 新赤版 2006)

田淵 句美子 著
岩波書店

「百人一首」は、誰によって、何の目的で作られたのか。成立の背景やアンソロジーとしての特色を解きほぐし、中世から現代までの受容のあり方を考えることで、和歌のすべてを網羅しているかのような求心力の謎に迫る。

読売新聞 2024/03/17

2024:1./ 262p
978-4-00-432006-7

¥968〔税込〕





喜べ、幸いなる魂よ(角川文庫 さ 78-7)

佐藤 亜紀 著

KADOKAWA

18世紀ベルギーの小都市。ヤネケは、一緒に育てられたヤンの子を産むと、生涯単身を選んだ半聖半俗の女たちが住まう「ベギン会」に移り住む。ヤンはヤネケと家庭を築くことを願うが...

読売新聞 2024/03/17

2024:1./ 360p
978-4-04-113760-4

¥1,034〔税込〕



9 78 4 0 4 1 1 3 7 6 0 4



みんなこわい話が大すき

尾八原 ジュージ 著

KADOKAWA

押し入れに隠れている影みたいなやつ、ナイナイをいじめっ子に見せた日から、ひかりは皆に持て囃されるように。数年後、霊能者・志朗貞明は、母子心中事件の原因を探してほしいと依頼され...。『カクヨム』掲載を加筆修正。

読売新聞 2024/03/17

2023:12./ 267p
978-4-04-114349-0

¥1,760〔税込〕



9 78 4 0 4 1 1 4 3 4 9 0



対怪異アンドロイド開発研究室

饗庭淵 著

KADOKAWA

白川研究室は「出る」と言われる場所や噂を調査する対怪異アンドロイド・アリサを開発した。深夜に山奥の廃村を調査し、様々な異常を検知したアリサ。白川研究室を訪問した新島ゆかりが、アリサが持ち帰ったデータを見ると...

読売新聞 2024/03/17

2023:12./ 270p
978-4-04-114369-8

¥1,815〔税込〕



9 78 4 0 4 1 1 4 3 6 9 8



あじ(日本のことばずかん)

講談社

「味」と聞いて思い浮かべることばは？ 選び抜いた100以上の味に関することばを多数の写真や絵画とともに紹介。関連する文学作品や味にまつわるコラムなども掲載。伝え残したい日本語をまとめた“ことばずかん”。

読売新聞 2024/03/17

2024:2./ 47p
978-4-06-534047-9

¥2,750〔税込〕



9 78 4 0 6 5 3 4 0 4 7 9



神武天皇の歴史学(講談社選書メチエ 794)

外池 昇 著

講談社

実在が確認できない初代天皇・神武天皇。その墓所はどのように決定したのか。神武天皇陵の候補地3カ所をめぐって、さまざまに論じられてきた過程をつぶさにみる。

読売新聞 2024/03/17

2024:1./ 263p
978-4-06-534464-4

¥1,980〔税込〕



9 78 4 0 6 5 3 4 4 6 4 4



マルテの手記 改版(新潮文庫)

リルケ 著

新潮社

読売新聞 2024/03/17

2001:9./ 346p
978-4-10-217503-3

¥649〔税込〕



9 78 4 1 0 2 1 7 5 0 3 3



外事警察秘録

北村 滋 著
文藝春秋

中国、ロシア、北朝鮮…。海外からの脅威に日本の「外事警察」はいかに対峙してきたのか。警察官僚、前国家安全保障局長の著者が、スパイとの闘い、水面下での極秘任務の数々を明かす。『文藝春秋』掲載を書籍化。

読売新聞 2024/03/17

2023:12./ 291p
978-4-16-391788-7

¥1,760〔税込〕



日本の裸体芸術～刺青からヌードへ～(ちくま学芸文庫 ミ 30-1)

宮下 規久朗 著
筑摩書房

美人画や刺青画、生人形など、生身の人間性を感じさせる日本固有の裸体芸術が、明治期に、人格を除去し肉体を誇示した西洋ヌードと出会い、劇的に変容する様を描いた異色の美術史。大幅に加筆し文庫化。

読売新聞 2024/03/17

2024:1./ 299p
978-4-480-51228-4

¥1,430〔税込〕



<田舎と都会>の系譜学～20世紀イギリスと「文化」の地図～

河野 真太郎 著
ミネルヴァ書房

近代の地政学と個人の生がきりむすぶ関係を、主にイギリス文学と批評テキストを参照しながら考察。田舎から都会、国民国家から帝国といった地政学的変容の系譜とその文化面での応答を明らかにする。

読売新聞 2024/03/17

2013:5./ 276p
978-4-623-06637-7

¥7,150〔税込〕



明治の地方ビール～全国醸造所・銘柄総覧～

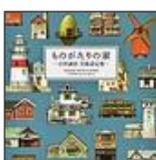
牛米 努 著
吉川弘文館

近代の幕が開けた日本には、全国各地に小規模な醸造所が相次いで誕生した地方ビールの時代があった。黎明期から国内産業振興で発展し、税制改正により終焉を迎えるまで、地方ビールの歴史を平易に解説する。

読売新聞 2024/03/17

2023:11./ 230p
978-4-642-03929-1

¥4,180〔税込〕



ものがたりの家～吉田誠治美術設定集～

吉田 誠治 著
パイインターナショナル

住んでみたい! 夢と憧れが詰まった空想の家 33点を収録した美術設定集。コマ割り絵本、線画ギャラリー、メイキングも掲載する。同人誌「ものがたりの家Ⅰ・Ⅱ」に描き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2024/03/17

2020:7./ 127p
978-4-7562-5358-3

¥2,420〔税込〕





月の雫

中村稔 著
青土社

月の光はすべての家々に、等しく降り注ぎ、雫を撒いている。住人が雫と気づかなくても、月の光は意に介さない。(「月の雫2」より) 戦後詩を代表する97歳の詩人・中村稔が、生きることの愉悦を詩で綴る。

読売新聞 2024/03/17

2024:1./ 89p
978-4-7917-7628-3

¥2,200〔税込〕



平和の経済的帰結〜新訳〜

ジョン・メイナード・ケインズ 著
東洋経済新報社

「過剰な制裁が、新たな戦争を生み出す」 官僚時代、第一次世界大戦のパリ講和会議にイギリス代表団の一員として参加し、社会経済変化についての認識に基づいて、ドイツへの過大な賠償請求を戒めたケインズの経済論。

読売新聞 2024/03/17、朝日新聞 2024/03/23

2024:1./ 260p
978-4-492-31557-6

¥2,640〔税込〕



優しい暴力の時代(河出文庫 チ9-1)

チョン・イヒョン 著
河出書房新社

人々は親切に、礼儀正しく傷つけあう。人生に訪れた劇的な出会いを鮮やかに描く、現代韓国を代表するストーリーテラーによる珠玉の短編集。現代文学賞受賞「三豊百貨店」収録。訳者あとがき、西加奈子の解説を加え文庫化。

読売新聞 2024/03/17、朝日新聞 2024/03/30

2024:2./ 302p
978-4-309-46795-5

¥1,210〔税込〕



夜更かしの社会史〜安眠と不眠の日本近現代〜

近森 高明、右田 裕規 編
吉川弘文館

夜間も活動するようになった都市住人は、眠りについてどんな認識や習慣、商品を生み出してきたか。その変遷を追い、夜に眠る/眠らないことの両方を同時に要請する産業社会での人びとの生活と睡眠との関係史に迫る。

読売新聞 2024/03/17、朝日新聞 2024/03/30

2024:1./ 266p
978-4-642-03931-4

¥4,180〔税込〕



Science Fictions〜あなたが知らない科学の真実〜

スチュアート・リッチー 著
ダイヤモンド社

スタンフォード監獄実験はイカサマだった! 科学者の1.97%がデータを捏造したことがある!? 科学における不正・怠慢・バイアス・誇張が起きる仕組みを多数の実例とともに解説する。

読売新聞 2024/03/17、日本経済新聞 2024/03/23

2024:1./ 447p
978-4-478-11340-0

¥2,090〔税込〕





名誉と恍惚<上>(岩波現代文庫 文芸 357)

松浦 寿輝 著
岩波書店

日中戦争中に上海の工部局警察官の職を追われた芹沢は、潜伏生活を余儀なくされ...。彼に生き延びる術は残されているのか。祖国に捨てられた男の転変の生を卓絶したスケールで描く。上は第1部 1~13章を収録。

読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 490p
978-4-00-602357-7

¥1,815〔税込〕



名誉と恍惚<下>(岩波現代文庫 文芸 358)

松浦 寿輝 著
岩波書店

日中戦争中に上海の工部局警察官の職を追われた芹沢は、潜伏生活を余儀なくされ...。彼に生き延びる術は残されているのか。祖国に捨てられた男の転変の生を卓絶したスケールで描く。下は第1部 14章~第2部エピローグを収録。

読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 504p
978-4-00-602358-4

¥1,881〔税込〕



中村哲さん殺害事件実行犯の「遺言」

乗京真知 著
朝日新聞出版

アフガニスタンで銃撃され、亡くなった中村哲医師。主犯格の男が漏らした本音、背後でうごめく謀報機関...。約3年にわたる取材を通して事件の真相に迫る。『朝日新聞デジタル』連載をもとにその後の進展を盛り込んで単行本化。

読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 247p
978-4-02-251969-6

¥1,760〔税込〕



遠野物語 新版(角川ソフィア文庫)

柳田 国男 著
角川書店

雪女・天狗・河童の話、正月行事や狼たちの生態。遠野郷(岩手県)には、怪異や伝説、古くからの習俗が、なぜかたくさん眠っていた。日本の原風景を描く日本民俗学の金字塔。年譜・索引・地図付き。

読売新聞 2024/03/24

2004:5./ 268p
978-4-04-308320-6

¥572〔税込〕



往生要集入門~悲しき者の救い~(講談社学術文庫 2806)

石田 瑞麿 著
講談社

自身を含む多くの罪深い者が救われる道を模索した源信の「往生要集」。源信なくしては、法然も親鸞もなかった。日本の信仰の根幹をなす浄土思想の原点を、仏教学の泰斗が平易な訳で紹介しつつ解き明かす。

読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 254p
978-4-06-534843-7

¥1,210〔税込〕





君を守ろうとする猫の話

夏川 草介 著
小学館

幸崎ナナミは中学2年生。喘息の持病があるため、学校が終わるとひとりで図書館に足を運ぶ生活を送っている。その図書館で、最近本がなくなっているらしい。館内の探索を始めたナナミは、翡翠色の目をした猫と出会い…。

読売新聞 2024/03/24

2024:3./ 222p
978-4-09-386710-8

¥1,650〔税込〕



アンソニシャルディスタンス(新潮文庫 か-54-5)

金原 ひとみ 著
新潮社

年下彼氏の若さに当てられ、整形へ走る女。彼氏を心中に誘う女。恋人と会えない孤独な日々で、性欲や激辛欲が荒ぶる女-。絶望に溺れ、必死にもがく女性たちを鮮烈に描いた短編集。全5編を収録する。

読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 362p
978-4-10-131335-1

¥781〔税込〕



人間はどこまで家畜か~現代人の精神構造~(ハヤカワ新書 019)

熊代 亨 著
早川書房

人間が生み出した環境のなかで、群れやすく進化していく「自己家畜化」。だが適応できないものは「発達障害」や「社交不安症」といった形で現れている。「自己家畜化」をキーワードに現代の人間疎外を論じる。

読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 216p
978-4-15-340019-1

¥1,078〔税込〕



1947

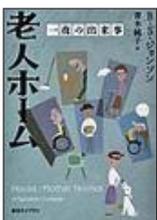
長浦京 著
光文社

敗戦直後の東京に、若き英国軍人が降り立つ。GHQ、日本警察、ヤクザ...様々な妨害を受けながら、戦場で捕虜となった兄を不当に殺害した日本兵の行方を追うが-。『ジャーロ』連載に加筆・修正し単行本化。

読売新聞 2024/03/24

2024:1./ 611p
978-4-334-10200-5

¥2,750〔税込〕



老人ホーム~一夜の出来事~(創元ライブラリ Lシ 1-1)

B・S・ジョンソン 著
東京創元社

年齢も視力も聴力も痴呆度もすべてが異なる8人の老人と寮母1人が見る、各人にひとつの真実。同じ一夜の同じ場面が、9人それぞれの章の同じページ、同じ行に浮かび上がる。同時進行老人喜劇。

読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 348p
978-4-488-07089-2

¥1,540〔税込〕





夜明けのはざま

町田 そのこ 著

ポプラ社

地方都市の寂れた町にある葬儀社「芥子実庵」。親友の自死の知らせを受けた葬祭ディレクター、元夫の恋人の葬儀を手伝う花屋…。死を見つめることで、自分らしさと生への葛藤と決意を描く。『季刊 asta』連載に加筆修正。

読売新聞 2024/03/24

2023:11./ 362p
978-4-591-17980-2

¥1,870〔税込〕



「ふつう」の子育てがしんどい〜「子育て」を「孤育て」にしない社会へ〜

石田 光規／森 祐美子／阿部 剛 著

晃洋書房

目の前のことで精一杯で、社会から「孤立」しがちな現代の子育て。自力で頑張ることが「ふつう」とされる子育ては、過酷なサバイバルゲームだ。子育ての実態を明らかにし、ひとりで苦勞を抱え込まない仕組みを考える。

読売新聞 2024/03/24

2023:11./ 8p,192p
978-4-7710-3783-0

¥2,530〔税込〕



なぜ私たちは燃え尽きてしまうのか〜バーンアウト文化を終わらせるためにできること〜

ジョナサン・マレシク 著

青土社

燃え尽き症候群(バーンアウト)は、仕事と私生活に影響を及ぼし、原因は多岐にわたる。バーンアウトを個人の問題ではなく文化的な問題としてとらえ、歴史をたどり、その実態を解明し、対処法を提示する。

読売新聞 2024/03/24

2023:10./ 305p
978-4-7917-7591-0

¥2,420〔税込〕



ドゥルーズ=ガタリと私たち〜言語表現と生成変化の哲学〜

平田 公威 著

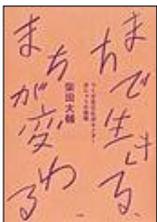
水声社

同一性を解体する<差異>や、他なるものへの<生成変化>を称揚したドゥルーズ=ガタリの哲学は、主体なき思想なのか？ ソシユール以降の言語学者たちが与えた衝撃を精緻に分析し、生成変化に至る理路を照らしだす。

読売新聞 2024/03/24

2023:11./ 316p
978-4-8010-0769-7

¥4,950〔税込〕



まちで生きる、まちが変わる〜つくば自立生活センターほにゃらの挑戦〜

柴田大輔 著

夕書房

いつ、どこで、誰と、何をするのかを自分で決める暮らしを、障害の重さにかかわらず実現するための当事者団体「つくば自立生活センターほにゃら」。20年以上にもわたって行ってきた、インクルーシブな社会への挑戦をたどる。

読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 271p
978-4-909179-10-4

¥2,200〔税込〕





小澤征爾、兄弟と語る～音楽、人間、ほんとうのこと～

小澤 俊夫、小澤 征爾、小澤 幹雄 著
岩波書店

激動の時代に支えあって育った小澤家の四兄弟。クラシック音楽界の巨匠となった征爾の歩みを、昔ばなし研究者の兄・俊夫と、エッセイストでタレントの弟・幹雄との、やわらかで率直な語りあいでもりかえる。

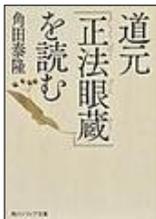
読売新聞 2024/03/31

2022:3./ 286p
978-4-00-061525-9

¥2,200〔税込〕



9 784000 615259



道元『正法眼蔵』を読む(角川ソフィア文庫 H107-4)

角田 泰隆 著
KADOKAWA

日本曹洞宗の開祖・道元が記した難解さで知られる仏教書の入門書。坐禅や生活の作法、世界や時間や夢、心といったものの捉え方など、禅の思想をかみ砕いてわかりやすく解説する。

読売新聞 2024/03/31

2024:1./ 302p
978-4-04-400809-3

¥1,320〔税込〕



9 784044 4008093



小澤征爾さんと、音楽について話をする(新潮文庫 む-5-34)

村上 春樹／小澤 征爾 著
新潮社

カーネギー・ホールの劇的な復活コンサート、カラヤンやバーンスタインと過ごした月日、若い世代へと繋いでゆくもの-。村上春樹が、小澤征爾の煌めく魂に触れた迫真のロングインタビュー。特別エッセイも収録。

読売新聞 2024/03/31

2014:7./ 467p
978-4-10-100166-1

¥880〔税込〕



9 784101 001661



ボクの音楽武者修行 改版(新潮文庫)

小澤 征爾 著
新潮社

読売新聞 2024/03/31

2002:11./ 244p
978-4-10-122801-3

¥649〔税込〕



9 784101 228013

音楽(新潮文庫)

小澤 征爾、武満 徹 著
新潮社

読売新聞 2024/03/31

1984:5./ 272p
978-4-10-122803-7

¥781〔税込〕



9 784101 228037



同じ年に生まれて～音楽、文学が僕らをつくった～

小澤 征爾、大江 健三郎 著
中央公論新社

「21世紀への対話」と題して2000年9月9日付『読売新聞』に掲載された、大江健三郎、小沢征爾の対談と、新たに同年12月21日に行われた対談をもとに再編成し、大幅に加筆したもの。

読売新聞 2024/03/31

2001:9./ 215p
978-4-12-003180-9

¥1,540〔税込〕



9 784120 031809



保守の旅路

伊吹文明／望月公一 著
中央公論新社

伝統的な日本人の生き方や規範を尊重しながら、秩序ある漸進的な改革を目指す保守主義。保守政治家として活躍した伊吹文明が、その人生をたどり、戦中戦後の社会と政治、保守政治の歩みと思想を綴る。『読売新聞』連載に加筆。

読売新聞 2024/03/31

2024:2./ 218p
978-4-12-005742-7

¥1,870〔税込〕



そして誰かがいなくなる

下村敦史 著
中央公論新社

大雪の日、大人気作家の御津島朱李が細部までこだわった新邸のお披露目会が行われた。招かれたのは作家、編集者、文芸評論家、そして名探偵。最初は和やかな雰囲気だったが、次第に雲行きが怪しく…。『BOC』連載を書籍化。

読売新聞 2024/03/31

2024:2./ 5p,306p
978-4-12-005744-1

¥1,980〔税込〕



日本の動物絵画史(NHK 出版新書 713)

金子 信久 著
NHK出版

日本にはなぜ多彩な動物絵画があるのか。日本人と動物のかかわりをたどるのみならず、「いかに描かれたか」という視点も交え、古代から近代までの数々の名作誕生の秘密に迫る。80点超のフルカラーの図版も収録。

読売新聞 2024/03/31

2024:1./ 286p
978-4-14-088713-4

¥1,485〔税込〕



精選女性随筆集 宇野千代 大庭みな子(文春文庫 編 22-6)

小池 真理子 編
大庭 みな子／宇野 千代 著
文藝春秋

多くの文化人たちとの恋愛、結婚、別れを経て、その経験を物語へと昇華させた宇野千代。一方で、生涯一人の夫と添い遂げた大庭みな子。対照的な生き方をしたふたりの作家が、女性としての生き方、家族、創作のことを綴る。

読売新聞 2024/03/31

2024:2./ 273p
978-4-16-792177-4

¥1,100〔税込〕



子どもへの性加害～性的グルーミングとは何か～(幻冬舎新書 さ-22-2)

斉藤 章佳 著
幻冬舎

子どもと信頼関係を築き、接触する性的グルーミングの加害者は何を考え、どんな口で迫るのか。子どもの異変や SOS をいかに察知するか。性犯罪者治療の専門家が、子どもを守るために大人や社会がすべきことを提言する。

読売新聞 2024/03/31

2023:11./ 266p
978-4-344-98713-5

¥1,078〔税込〕





憶～藤沢周連作短編集～

藤沢周 著
春陽堂書店

過去の記憶をたどりながら、現在と交錯する私小説風作品集。故郷・新潟を舞台に、主人公の幼い頃の「過去」と感染症がはびこる「現在」が交錯する。全 10 編を収録。『Web 新小説』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2024/03/31

2024:2./ 233p
978-4-394-90473-1
¥1,980〔税込〕



高峰秀子夫婦の流儀 完全版(ちくま文庫 た74-5)

高峰 秀子／松山 善三／斎藤 明美 著
筑摩書房

互いの仕事に口出ししない、相手の時間を奪わない。約束、収入、子供、礼儀、老いなど 10 のテーマから、稀有な夫婦の幸せの秘訣を解き明かす。エッセイも掲載する。「夫婦の旅」を増補し文庫化。

読売新聞 2024/03/31

2024:1./ 223p
978-4-480-43926-0
¥968〔税込〕



呪いを解く者

フランシス・ハーディング 著
東京創元社

<小さな仲間>という生き物がもたらす呪いが、人々に大きな影響を与えている国。呪いの糸をほどいて取り除くほどき屋の少年ケレンと、彼に助けられた少女ネトルは、呪いに悩む人々の依頼を解決しながら旅をするが...

読売新聞 2024/03/31

2023:11./ 524p
978-4-488-01128-4
¥4,070〔税込〕



小澤征爾指揮者を語る～音楽と表現～(100年インタビュー)

100年インタビュー制作班 編
小澤征爾／有働由美子 著
PHP 研究所

初めてフランスに渡ってから、ウィーン国立歌劇場の音楽監督になるまでの道のりとは？世界的人気を誇る指揮者・小澤征爾が、西洋音楽に挑んだ半世紀を語る。NHKBS「100年インタビュー」の内容をもとに単行本化。

読売新聞 2024/03/31

2012:3./ 152p
978-4-569-78224-9
¥1,320〔税込〕



美についての試論

イヴ=マリー・アンドレ神父 著
法政大学出版局

イエズス会士でありながら、デカルトなどに傾倒したため同会から迫害を受けた哲学者アンドレ神父。自然や習俗、文芸や音楽の美を論じ、デイドロをはじめとする同時代人から高く評価された美学史上の古典を本邦初訳。

読売新聞 2024/03/31

2023:12./ 346p
978-4-588-13037-3
¥4,620〔税込〕





わたくし大画報

和田 誠 著
ポプラ社

妻・平野レミとのエピソードから、はじめての育児、著名人との交友録、『週刊文春』の表紙イラストや装丁の仕事まで。“めったに自分を語らない”和田誠の素顔が垣間見える貴重なエッセイを復刊。

読売新聞 2024/03/31

2024:3./ 253p
978-4-591-18027-3

¥1,760〔税込〕



医療現場で働くやとわれ心理士のお仕事入門

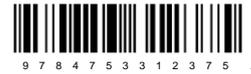
小林 陵 著
岩崎学術出版社

臨床に多職種との連携に、悩みの絶えない心理士をなんとかもちこたえさせてくれる「三本の柱」とは。さまざまな職種・患者のいる総合病院で心理士として働く著者が、日々の仕事の様子を軽やかに、正直に描く。

読売新聞 2024/03/31

2024:2./ 7p,177p
978-4-7533-1237-5

¥2,640〔税込〕



「働き手不足 1100万人」の衝撃～2040年の日本が直面する危機と“希望”～

古屋星斗／リクルートワークス研究所 著
プレジデント社

宅配便が届かない、救急車を呼んでも来ない…。生活維持サービスが消滅する前に何をすべきか。働き手不足を解消する4つの打ち手を紹介し、労働供給制約のなかで持続可能で豊かな社会をつくるための方向性と解決策を提案する。

読売新聞 2024/03/31

2024:1./ 269p
978-4-8334-2514-8

¥1,760〔税込〕



悪筆論～一枚の書は何を物語るか-書体と文体～

石川九楊 著
芸術新聞社

“書は文学である”という命題に肉迫する、書家・石川九楊の最新書字(筆蝕)論。川端康成、谷崎潤一郎、三島由紀夫、太宰治らの「書」からそれぞれの作家性を読み解く。『墨』連載を単行本化。

読売新聞 2024/03/31

2023:12./ 453p
978-4-87586-683-1

¥3,300〔税込〕



特権と不安～グローバル資本主義と韓国の中産階層～

ハーゲン・クー 著
岩波書店

韓国の中産階層内部の分極化に焦点を当て、グローバル時代に韓国社会が経験している変化を分析。「没落する中産層」を尻目に台頭する特権中産層の実態から、韓国社会を呑みこむグローバル資本主義の宿痾を見つめる。

日本経済新聞 2024/03/02

2023:12./ 220p
978-4-00-061620-1

¥2,860〔税込〕



幸福論(岩波文庫 青 656-2)

アラン 著
岩波書店

ルーアンの新聞に「日曜語録」として連載されたのを皮切りに、総計 5000 に上るアランのプロポ(哲学断章)。幸福に関する 93 のプロポを収めた本書は、日本でも早くから親しまれてきたもの。折にふれゆっくりと味わいたい。

日本経済新聞 2024/03/02

1998:1./ 330p
978-4-00-336562-5

¥1,078 [税込]



9 78 4 00 3 365 62 5



街道をゆく<3> 陸奥のみち、肥薩のみちほか(朝日文庫)

司馬 遼太郎 著
朝日新聞出版

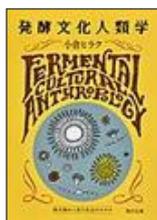
日本経済新聞 2024/03/02

2008:8./ 315,8p
978-4-02-264442-8

¥726 [税込]



9 78 4 02 2 644 42 8



発酵文化人類学~微生物から見た社会のカタチ~(角川文庫 お93-1)

小倉 ヒラク 著
KADOKAWA

ヒトと発酵の出会い、みそ作り、日本各地で出会った個性的な発酵食品…。見えない発酵菌たちのはたらきをデザインを通して可視化する著者が、文化人類学の方法論を駆使して、人間と微生物の織りなす不思議な世界を紹介する。

日本経済新聞 2024/03/02

2020:6./ 388p
978-4-04-109291-0

¥880 [税込]



9 78 4 04 1 092 91 0



奔流~コロナ「専門家」はなぜ消されたのか~

広野 真嗣 著
講談社

尾身茂、押谷仁、西浦博-。国家の命運を託された感染症専門家たちは、顕彰されることもなく、姿を消した。彼らは当時、何を考え、そしていま何を思うのか? 失われた「コロナ3年間」の真実に迫る。

日本経済新聞 2024/03/02

2024:1./ 317p
978-4-06-534465-1

¥1,980 [税込]



9 78 4 06 5 344 65 1



明治六大巡幸~「報道される天皇」の誕生~(中公選書 145)

奥武則 著
中央公論新社

生涯にわたり全国各地を行幸した明治天皇。「可視化された天皇」の出現と、新聞が次々に創刊された同時代性に着目し、当時のニューメディアが近代日本の初発における「国民国家」の形成に果たした役割を明らかにする。

日本経済新聞 2024/03/02

2024:1./ 14p,250p
978-4-12-110146-4

¥1,870 [税込]



9 78 4 12 1 101 46 4



ハクビシンの不思議～どこから来て、どこへ行くのか～

増田 隆一 著

東京大学出版会

なんとなく近くにいるのに、何者なのかはよくわからないハクビシン。彼らはどんな動物で、いつから日本に分布しているのか？ さまざまな動物たちの由来を解き明かしてきた動物学者が、ミステリアスな生きものの謎を追う。

日本経済新聞 2024/03/02

2024:1./ 123p
978-4-13-063958-3

¥3,300〔税込〕



『RRR』で知るインド近現代史(文春新書 1443)

笠井 亮平 著

文藝春秋

世界的な大ヒットとなったインド映画「RRR」。映像にちりばめられた数々の対英独立闘争の意匠と背景を解説。その他のインド関連映画も触れながら、極上のエンタメ作品を深掘りして激動のインド近現代史を描く。

日本経済新聞 2024/03/02

2024:2./ 239p
978-4-16-661443-1

¥1,100〔税込〕



ひなた商店街(潮文庫 や-4)

山本 甲士 著

潮出版社

夢をあきらめた貴仁は、佐賀に帰省し、シャッター商店街にある親戚が営むおでん屋で働き始める。ある日、地元テレビ局の食レポがあり、文具店に居候する女子大生・菜実にそそのかされ、忍者装束で対応したところ評判になり…。

日本経済新聞 2024/03/02

2024:2./ 368p
978-4-267-02420-7

¥825〔税込〕



LIFE SHIFT～100年時代の人生戦略～

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著

東洋経済新報社

多くの人が100年以上生きる社会で、どうすれば、個人や家族、企業、社会全体が長寿化から得る恩恵を最も大きくできるのか。世界で活躍するビジネス思想家たちが、成長至上の次に来る、新しいビジョンを示す。

日本経済新聞 2024/03/02

2016:10./ 399p,15p
978-4-492-53387-1

¥1,980〔税込〕



投資で一番大切な20の教え～賢い投資家になるための隠れた常識～

ハワード・マークス、貫井 佳子 著

日本経済新聞出版社

どうしたら投資リスクを限定できるのか？ コンセンサスと別の見方をする理由とは？ 損失を最小限に抑えるには？ 世界最大級の資産運用会社の創業者が書いた「顧客向けレター」を元に、成功する投資哲学を伝授する。

日本経済新聞 2024/03/02

2012:10./ 315p
978-4-532-35539-5

¥2,200〔税込〕





ロシア奪われた未来～ソ連崩壊後の四半世紀を生きる～

マーシャ・ゲッセン 著

白水社

ソ連崩壊後のロシアはこれまで、どのような道をたどって今日の姿になったのか。ブーチン支配の世界で成人した男女4人の人生体験を縦糸に、著名な精神分析医・社会学者・哲学者3人の視点と言説を横糸に紡ぐノンフィクション。

日本経済新聞 2024/03/02

2023:12./ 466p,51p
978-4-560-09387-0

¥6,380〔税込〕



9 7 8 4 5 6 0 0 9 3 8 7 0



日本を創った12人(PHP文庫)

堺屋 太一 著

PHP研究所

歴史的人物から日本人の特性を見直す力作評論。

日本経済新聞 2024/03/02

2006:2./ 413p
978-4-569-66560-3

¥796〔税込〕



9 7 8 4 5 6 9 6 6 5 6 0 3



ブランド幻想～ファッション業界、光と闇のあいだから～

アリッサ・ハーディ 著

明石書店

光り輝くランウェイの先に広がるファッション業界の闇の奥で、『ティーンヴォーグ』の元エディターはどんな現実を見出したのか。ファストファッションの台頭を受け、加速するトレンドに疲弊する現場をたどったルポ。

日本経済新聞 2024/03/02

2023:12./ 221p
978-4-7503-5667-9

¥2,640〔税込〕



9 7 8 4 7 5 0 3 5 6 6 7 9



超訳カーネギー人を動かす

D.カーネギー、弓場 隆 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

人間の本质を理解し、人とうまくやっていき、人に好かれ、人に賛同してもらう方法を紹介する。アメリカの自己啓発の大家、デール・カーネギーの古典的名著のエッセンスをわかりやすくまとめた本。

日本経済新聞 2024/03/02

2018:8./ 1冊(ページ付
なし)

978-4-7993-2354-0

¥1,870〔税込〕



9 7 8 4 7 9 9 3 2 3 5 4 0



計測の科学～人類が生み出した福音と災厄～

ジェームズ・ヴィンセント 著

築地書館

私たちはさまざまなものを計測し、世界を理解しようとする一方で、知性や嗜好といったものまで数値化し、選別の手段としている。計測が私たちの住む世界を作っただけでなく、私たち自身をも作りあげてきたことを描く。

日本経済新聞 2024/03/02

2024:1./ 380p
978-4-8067-1661-7

¥3,520〔税込〕



9 7 8 4 8 0 6 7 1 6 6 1 7



世界はラテン語できている(SB新書 641)

ラテン語さん 著
S Bクリエイティブ

メルカリ、ベネッセ、アシックスはラテン語由来!? 欧米の言語のみならず、現代日本にも強い影響を持つラテン語。ラテン語と人類、2000年超の歩みを眺めながら、ラテン語の魅力を紹介する。ヤマザキマリとの対談も収録。

日本経済新聞 2024/03/02

2024:1./ 214p
978-4-8156-2126-1

¥990〔税込〕



日本の経済政策〜「失われた30年」をいかに克服するか〜(中公新書 2786)

小林慶一郎 著
中央公論新社

不良債権処理、デフレ論争など、日本経済をバブル崩壊から振り返り、繰り広げられた論争と、実施された政策をマクロ経済学の見地から検証。陥った苦境をどのように突破すべきか、将来への持続性につながる経済政策を提言する。

日本経済新聞 2024/03/02、東京・中日新聞 2024/03/10

2024:1./ 3p,276p
978-4-12-102786-3

¥1,012〔税込〕



ヤバい統計〜政府、政治家、世論はなぜ数字に騙されるのか〜(集英社シリーズ・コモン)

ジョージナ・スタージ 著
集英社

データはどのようにして生まれるのか。データはなぜ公共政策に不具合をもたらす恐れがあるのか。信頼できて当然だと思っていたデータの裏側を紹介する。数学や統計学の予備知識なしで、楽しみながら学べる統計の入門書。

日本経済新聞 2024/03/02、東京・中日新聞 2024/03/17、読売新聞 2024/03/17、毎日新聞 2024/03/23

2024:1./ 367p
978-4-08-737003-4

¥2,640〔税込〕



マーリ・アルメイダの七つの月<上>

シェハン・カルナティラカ 著
河出書房新社

1990年、内戦下のスリランカ。戦場カメラマンのマーリは内戦を終結させる写真を撮るも何者かに殺され、気がつくと冥界にいた。写真を公表するために彼に与えられた猶予は7回月が昇るまで…。狂乱のゴースト・ストーリー。

日本経済新聞 2024/03/02、読売新聞 2024/03/10

2023:12./ 281p
978-4-309-20895-4

¥2,970〔税込〕



マーリ・アルメイダの七つの月<下>

シェハン・カルナティラカ 著
河出書房新社

写真を公表すべく奮闘するマーリの前に立ちはだかる、殺された青年革命家、生者と死者を媒介する隠者、爆破テロで死んだ博士、冥界最凶の邪神。陰謀が錯綜し、三つ巴の内戦は激化していき…。狂乱のゴースト・ストーリー。

日本経済新聞 2024/03/02、読売新聞 2024/03/10

2023:12./ 306p
978-4-309-20896-1

¥3,080〔税込〕





歴史としての二十世紀(新潮選書)

高坂 正堯 著
新潮社

“いい人”の政治家が、なぜ戦争を起こすのか。クラウゼヴィッツの戦争論の限界とはなにか。戦争の時代に逆戻りした今、現実主義の視点から2度の世界大戦と冷戦を振り返る。国際政治学者・高坂正堯の幻の名講演を書籍化。

日本経済新聞 2024/03/02、読売新聞 2024/03/17

2023:11./ 231p
978-4-10-603904-1

¥1,760〔税込〕



坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

日本経済新聞 2024/03/02、日本経済新聞 2024/03/16

1999:1./ 350p
978-4-16-710576-1

¥803〔税込〕



注文の多すぎる患者たち～野生動物たちの知られざる診療カルテ～

ロマン・ピッツィ 著
ハーパーコリンズ・ジャパン

タランチュラをMRIにかけ、クマに脳外科手術を行い、サメに麻酔し、ゴリラにペースメーカーを植え込む…。野生動物外科の世界的権威が、世界中の野生の地や保護区をめぐる動物たちを治療し、野生に帰すまでの様子を綴る。

日本経済新聞 2024/03/02、毎日新聞 2024/03/23

2024:1./ 495p 図版 16p
978-4-596-53429-3

¥3,300〔税込〕



核兵器と原発～日本が抱える「核」のジレンマ～(講談社現代新書 2458)

鈴木 達治郎 著
講談社

「核の傘」は日本国民を本当に守ってくれるのか？なぜ自民党は原発政策を逆行させようとするのか？原子力委員会の元委員長代理が、日本の核の真実を明かす。

日本経済新聞 2024/03/09

2017:12./ 214p
978-4-06-288458-7

¥880〔税込〕



二人キリ

村山 由佳 著
集英社

脚本家の吉弥は、少年時代に安倍定事件に遭遇。以来、ゆえあって定の関係者を探し出し、証言を集め続けてきた。それぞれの証言が交錯する果てに、定の胸に宿る“真実”が溢れだす。『小説すばる』連載を加筆・修正。

日本経済新聞 2024/03/09

2024:1./ 487p
978-4-08-771855-3

¥2,310〔税込〕





オーバーヒート(新潮文庫 ち-9-2)

千葉 雅也 著
新潮社

「言語は存在のクソだ!」と嘯きながら、言葉と男たちの肉体との間を往復する僕-。哲学者の「僕」を取り巻く時間と人々を鮮やかに描く。第45回川端康成文学賞受賞作「マジックミラー」を併録。

日本経済新聞 2024/03/09

2024:2./ 243p
978-4-10-104162-9
¥649 [税込]



在日米軍基地～米軍と国連軍、「2つの顔」の80年史～(中公新書 2789)

川名晋史 著
中央公論新社

占領期から朝鮮戦争、安保改定、沖縄返還、冷戦終結、普天間移設問題まで、在日米軍基地と日米関係の軌跡を新発見の史料をふまえて論考。特異な実態を解明し、戦後史を描き直す。

日本経済新聞 2024/03/09

2024:1./ 5p,331p
978-4-12-102789-4
¥1,210 [税込]



人口は未来を語る～「10の数字」で知る経済、少子化、環境問題～

ポール・モーランド 著
NHK出版

少子化は政策より個人の思想が影響する、高齢化が進むと紛争が減る、超高齢化社会・日本は未来の世界の象徴...。人口動態における象徴的な10の数字をもとに、気鋭の人口学者が今後の社会を読み解く。

日本経済新聞 2024/03/09

2024:1./ 381p
978-4-14-081953-1
¥2,860 [税込]



スピノザの診察室

夏川 草介 著
文藝春秋

京都の地域病院で働く内科医・雄町哲郎は、かつては大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を嘱望された凄腕医師だった。哲郎の力量に惚れ込んでいた大学准教授の花垣は、愛弟子の南茉莉を哲郎のもとに送り込むが...

日本経済新聞 2024/03/09

2023:10./ 287p
978-4-16-401006-8
¥1,870 [税込]



静かな働き方～「ほどよい」仕事でじぶん時間を取り戻す～

シモーヌ・ストルゾフ 著
日経BP社

本当の成功って、なんだろう? 有名コンサル会社IDEO出身者が、自身の退職を機に働き中毒となった米国ホワイトカラーの実態と、その背景にある仕事の「神話」に疑いの目を向け、「適度な仕事」を問い直す。

日本経済新聞 2024/03/09

2023:12./ 255p
978-4-296-11884-7
¥2,090 [税込]





国境と人類～文明誕生以来の難問～

ジェイムズ・クロフォード 著

河出書房新社

難民、パンデミック、気候変動...すべては国境問題につながる。人類にとって「国境」とは何か。古代の戦跡から、パレスチナ、トランプの壁、解ける氷河まで、歴史的転換点の現場で考える。

日本経済新聞 2024/03/09

2024:1./ 464p,28p

978-4-309-22910-2

¥3,498 [税込]



独仏「原発」二つの選択(筑摩選書 0136)

篠田 航一／宮川 裕章 著

筑摩書房

福島原発事故以降、世界の原発政策は揺れている。毎日新聞特派員が、エネルギー大国であるドイツとフランスの現実と苦悩をルポルタージュ。EU加盟の隣国同士ながら、対応が両極端に分かれたそれぞれの苦悩に迫る。

日本経済新聞 2024/03/09

2016:9./ 254p

978-4-480-01641-6

¥1,760 [税込]



世界のラグジュアリーブランドはいま何をしているのか?

イヴ・アナニア、イザベル・ミュスニク、フィリップ・ゲヨシェ 著

東洋経済新報社

コロナ危機後も、世界的に成長し続けるラグジュアリー産業。誰もが知っている代表的ブランドや、デジタル時代に生まれた新進ブランドの事例とともに、先端技術を取り込み、加速と破壊を推し進める世界的ブランドの全貌に迫る。

日本経済新聞 2024/03/09

2023:12./ 532p

978-4-492-55830-0

¥3,850 [税込]



エネルギー転換の国際政治経済学

高橋 洋 著

日本評論社

各国で進むエネルギー転換の最前線と、化石燃料時代の終わりの始まりを紹介。今後の国際政治経済において予想される構造変化に焦点を当てて分析し、日本の取るべき対応策についても考える。

日本経済新聞 2024/03/09

2021:2./ 7p,217p

978-4-535-55964-6

¥2,530 [税込]



ガザに地下鉄が走る日

岡 真理 著

みすず書房

現代の強制収容所と言われるパレスチナ・ガザ地区。移動の自由はなく、物資は制限され、ミサイルが日常的に撃ち込まれる。長年パレスチナと関わり続ける著者が、絶望的な状況でなお人間的に生きる人びととの出会いを伝える。

日本経済新聞 2024/03/09

2018:11./ 305p

978-4-622-08747-2

¥3,520 [税込]





日本の「これから」の戦争を考える～現代防衛戦略論～

関口 高史 著
作品社

現実になりつつある「脅威」へいかに対処すべきか。現代戦の教訓となる過去の2つの戦いを具体的に検証し、「戦争の基本的事項」「戦略環境の醸成」「抑止対処戦略の基本コンセプト」「島嶼防衛」などを考える<資>を示す。

日本経済新聞 2024/03/09

2023:12./ 270p
978-4-86182-981-9

¥2,640〔税込〕



再生可能エネルギーの地政学

十市 勉 著
エネルギーフォーラム

本格的な「クリーンエネルギー移行」に向かい、従来の石油・天然ガスの地政学リスクのほか、新たな再エネ固有の地政学リスクが高まっている。低炭素技術の開発競争にしのぎを削る各国の戦略や政策、日本の課題などを提示する。

日本経済新聞 2024/03/09

2023:7./ 214p
978-4-88555-536-7

¥1,760〔税込〕



ひとが詩人になるとき

平川 克美 著
ミツイパブリッシング

詩人に憧れながら実業家として半生を歩んだ著者が、堀川正美、茨木のり子、伊藤比呂美、寺山修司らの作品を再考察。なぜ、彼ら彼女らは詩人になったのか、なぜ詩を書くのか、その謎に迫る極私的詩人論。

日本経済新聞 2024/03/09

2024:1./ 286p
978-4-907364-33-5

¥2,090〔税込〕



リュウジ式至高のレシピ～人生でいちばん美味しい!～

リュウジ 著
ライツ社

味噌汁ではなくモツ煮のやり方で作る豚汁、味つけは「煮詰めたケチャップ」だけのナポリタン...。定番料理が見たことのないアイデアで人生最高の味にキマる至高のレシピを紹介。工程はプロセス写真で丁寧に解説する。

日本経済新聞 2024/03/09

2021:12./ 191p
978-4-909044-34-1

¥1,650〔税込〕



放課後ミステリクラブ<1> 金魚の泳ぐプール事件

知念実希人 著
ライツ社

夜の学校。プールに放たれた金魚。だれが、なんのために? 4年1組の辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴、通称「ミステリトリオ」が先生の依頼で動き出す! 作家・知念実希人による児童書本格ミステリ。

日本経済新聞 2024/03/09

2023:6./ 159p
978-4-909044-45-7

¥1,210〔税込〕





嫉妬論～民主社会に渦巻く情念を解剖する～(光文社新書 1297)

山本圭 著
光文社

なぜ嫉妬という感情を手放すことができないのか。嫉妬感情は、政治や社会生活、とりわけ民主主義とどうかかわっているのか。嫉妬にかんする古今東西の言説を分析しながら「厄介な感情」を掘り下げて考察する。

日本経済新聞 2024/03/09、読売新聞 2024/03/24

2024:2./ 247p
978-4-334-10224-1

¥946〔税込〕



9 784334 102241



明朝体の教室～日本で150年の歴史を持つ明朝体はどのようにデザインされているのか～

鳥海修 著
Book & Design

明朝体の世界へようこそ! 書体デザインの第一人者・鳥海修が、字游工房が作った游明朝体を基準にして、本文用明朝体の制作手順から、各書体の比較検討、文字の歴史までわかりやすく解説します。

日本経済新聞 2024/03/09、読売新聞 2024/03/24

2024:1./ 340p,9p
978-4-909718-10-5

¥3,520〔税込〕



9 784909 718105



古代アメリカ文明～マヤ・アステカ・ナスカ・インカの実像～(講談社現代新書 2729)

青山和夫/井上幸孝/坂井正人/大平秀一 著
講談社

欧米には存在しない「世界四大文明」史観、アステカ王国「生贄」の虚像、「ワロチリ文書」が語るアンデス先住民の精神世界…。最新の知見をもとに「常識」のウソを明らかにし、文明が生まれる条件を考察する。

日本経済新聞 2024/03/09、読売新聞 2024/03/31

2023:12./ 317p
978-4-06-534280-0

¥1,320〔税込〕



9 784065 342800



時代の行動者たち 香港デモ 2019

李立峯 編
白水社

2019年に起きた香港の抗議活動。平和的・理性的・非暴力を信奉していた市民たちが、過激化する活動をいかに支持したか。中高生から年長者に至るまで、デモ参加者らの生々しい証言から、その全体像に迫る。

日本経済新聞 2024/03/09、毎日新聞 2024/03/09

2023:12./ 404p,11p
978-4-560-09393-1

¥6,380〔税込〕



9 784560 093931



星の王子さま(岩波文庫 赤 N516-1)

サン=テグジュペリ 著
岩波書店

サハラ砂漠に不時着した孤独な飛行士と、「ほんとうのこと」しか知りたがらない純粹な星の王子さまとのふれあいを描いた、永遠の名作。内藤濯による歴史的名訳。「星の王子さま」誕生の秘話を満載したエッセイも収録。

日本経済新聞 2024/03/16

2017:7./ 222p
978-4-00-375131-2

¥572〔税込〕



9 784003 751312



街道をゆく<42> 三浦半島記(朝日文庫)

司馬 遼太郎 著
朝日新聞出版
日本経済新聞 2024/03/16

2009:5./ 305,8p
978-4-02-264496-1
¥836 [税込]



言語の力～「思考・価値観・感情」なぜ新しい言語を持つと世界が変わるのか?～

ビオリカ・マリアン 著
KADOKAWA
新しい言語を持つと、人間の思考・価値観・感情はどこまで変わる? ChatGPT の翻訳がある時代に外国語を学ぶ意味は? ノースウェスタン大学教授が、外国語を学ぶ真の利点を、最新の言語心理学研究から読み解く。

2023:12./ 391p
978-4-04-606377-9
¥2,200 [税込]



日本経済新聞 2024/03/16



東京オリンピック～文学者の見た世紀の祭典～(講談社文芸文庫 こ S1)

講談社 編
講談社
世紀の祭典が生んだ、煌びやかな文学者の競演!三島由紀夫、井上靖、檀一雄、小田実、安岡章太郎、大江健三郎... 錚々たる名手たちが、文学者の視点で五輪に沸いた1964年東京のすべてを活写した全記録。

2014:1./ 396p
978-4-06-290217-5
¥1,760 [税込]



日本経済新聞 2024/03/16



イザベラ・バードと侍ボーイ(集英社文庫 歴史時代 う 18-11)

植松 三十里 著
集英社
三浦半島の下級武士の子・伊東鶴吉は、東北から北海道へ旅する英国人作家イザベラの通訳ガイドに採用される。彼女は誰も見たことのない景色を求めて、険しい道ばかりを行きたがるが...。開国直後の日本を舞台に描く歴史小説。

2024:2./ 301p
978-4-08-744623-4
¥858 [税込]



日本経済新聞 2024/03/16



どくとのマンボウ青春記(新潮文庫)

北 杜夫 著
新潮社
日本経済新聞 2024/03/16

2000:9./ 326p
978-4-10-113152-8
¥737 [税込]



橋ものがたり 改版(新潮文庫)

藤沢 周平 著
新潮社
様々な人間が日毎行き交う江戸の橋を舞台に演じられる、出会いと別れ。市井の男女の喜怒哀楽の表情を瑞々しい筆致に描いて、絶賛を浴びた傑作時代小説。

2003:10./ 389p
978-4-10-124705-2
¥825 [税込]



日本経済新聞 2024/03/16



西行〜歌と旅と人生〜(新潮選書)

寺澤 行忠 著
新潮社

出家の背景、秀歌の創作秘話、漂泊の旅の意味、桜への熱愛、無常を乗り越えた「道」の思想、定家との意外な関係、芭蕉への影響…。西行歌集研究の第一人者が、偉才の知られざる素顔に迫る。

日本経済新聞 2024/03/16

2024:1./ 230p
978-4-10-603905-8

¥1,760〔税込〕



検事の矜持

中尾巧 著
中央公論新社

嘘、弁解、隠匿、権力が交錯する数々の事件。事件には必ず背景がある。検事は事件の捜査に当たって何を考え、いかに行動し、真実を探るのか。その思考と行動論理を、検事長を務めた著者が綴る。趣味・紀行のエッセイも収録。

日本経済新聞 2024/03/16

2023:2./ 221p
978-4-12-005633-8

¥1,650〔税込〕



技術革新と不平等の1000年史<上>

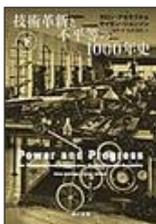
ダロン・アセモグル／サイモン・ジョンソン 著
早川書房

農法改良から産業革命、人工知能の進化まで。技術革新がどのような状況下で限られた社会エリート層にしか利益をもたらさなかったのか、もしくは、どのような状況下で広く繁栄をもたらしたのか、歴史を通じて明らかにする。

日本経済新聞 2024/03/16

2023:12./ 326p
978-4-15-210294-2

¥3,300〔税込〕



技術革新と不平等の1000年史<下>

ダロン・アセモグル／サイモン・ジョンソン 著
早川書房

農法改良から産業革命、人工知能の進化まで。技術革新がどのような状況下で限られた社会エリート層にしか利益をもたらさなかったのか、もしくは、どのような状況下で広く繁栄をもたらしたのか、歴史を通じて明らかにする。

日本経済新聞 2024/03/16

2023:12./ 372p
978-4-15-210295-9

¥3,300〔税込〕



池田大作と創価学会〜カリスマ亡き後の巨大宗教のゆくえ〜(文春新書1450)

小川 寛大 著
文藝春秋

卓抜した人間力で日本最大の新宗教団体を築き上げた稀代の指導者・池田大作が、静かにこの世を去った。激動の時代を生き抜いたリーダーはいかにして組織を統率し、拡大させたのか。その軌跡と行動原理を明らかにする。

日本経済新聞 2024/03/16

2024:2./ 262p
978-4-16-661450-9

¥1,045〔税込〕





等伯<上>(文春文庫 あ 32-4)

安部 龍太郎 編

文藝春秋

養父母の非業の死により、故郷・能登を追われ上洛し、戦の只中へ。物事の本質を求める絵師の性と荒ぶる武家の血が苦難の道を歩ませることに…。長谷川等伯の生涯を骨太に描く。

日本経済新聞 2024/03/16

2015:9./ 374p
978-4-16-790442-5

¥825〔税込〕



等伯<下>(文春文庫 あ 32-5)

安部 龍太郎 編

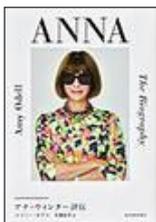
文藝春秋

狩野派との暗闘、心の師・千利休の自刃、秀吉の世に台頭する長谷川派を次々と襲う悲劇…。亡き者たちを背負い、等伯はおのれの画境に向かう。長谷川等伯の生涯を骨太に描く。

日本経済新聞 2024/03/16

2015:9./ 406p
978-4-16-790443-2

¥770〔税込〕



ANNA～アナ・ウィンター評伝～

エイミー・オデル 著

河出書房新社

『ヴォーグ』編集長から巨大メディア企業コンデナストの最上層部へ。ファッション界、メディア界で最も権力を手にした女性アナ・ウィンターの野心と波乱に満ちたキャリアの全貌を、多くの関係者インタビューをもとに描き出す。

日本経済新聞 2024/03/16

2023:12./ 531p 図版

16p

978-4-309-20893-0

¥3,960〔税込〕



ひとりみんぱく

松岡宏大 著

国書刊行会

キッチンでどこか不思議な魅力をもつ工芸、民芸、雑貨、珍品迷品。1990年代よりバックパッカーとして世界をめぐる旅行ライター・カメラマンの松岡宏大が、出会った物の写真とともに綴る、旅の記憶。

日本経済新聞 2024/03/16

2024:2./ 253p

978-4-336-07618-2

¥3,520〔税込〕



もうだまされない新型コロナの大誤解

西村 秀一 著

幻冬舎

ウイルスは手指から感染しない。パーティションは逆効果。手洗いよりうがいの方が大切…。呼吸器系ウイルス感染症の専門家が、新型コロナに関するお門違いの感染対策を一刀両断し、コロナと折り合いをつける科学的方法を解説する。

日本経済新聞 2024/03/16

2021:6./ 252p

978-4-344-03813-4

¥1,430〔税込〕



南ヴェトナム戦争従軍記(ちくま文庫)

岡村 昭彦 著

筑摩書房

南ヴェトナム戦争報道の鮮烈さで「LIFE」に“第2のキャバ”と紹介された国際フォト・ジャーナリストの戦場レポート。

日本経済新聞 2024/03/16

1990:2./ 592p
978-4-480-02385-8

¥1,046 [税込]



手はポケットのなか〜コードとして生きること〜

ヴェロニク・プーラン 著

白水社

ろう者の親のもとに生まれた「コード」の著者が、他の家族との違いにうろたえ傷つきながらも、親子のあいだにある葛藤やもどかしさ、家族の愛を強烈なユーモアで描く自伝的エッセイ。

日本経済新聞 2024/03/16

2024:3./ 184p
978-4-560-09282-8

¥2,420 [税込]



百首でよむ「源氏物語」〜和歌でたどる五十四帖〜(平凡社新書 1045)

木村 朗子 著

平凡社

恋の歌、嫉妬から生じた歌、人生の儂さを表現した歌…。「源氏物語」の中で、登場人物が詠んだ和歌 795 首のうち、物語のキーポイントとなる 100 首を厳選。物語の大筋をつかみながら和歌の鑑賞も愉しむ。

日本経済新聞 2024/03/16

2023:12./ 303p
978-4-582-86045-0

¥1,100 [税込]



活動的生

ハンナ・アーレント 著

みすず書房

真に問題的な事象そのものへの執拗なまでのこだわり、無類の辛辣さにまで高められた皮肉の数々、饒舌な文体にしかけられた愉快な脱線の放言…。ハンナ・アーレントの哲学的名著「人間の条件」のドイツ語版からの新訳。

日本経済新聞 2024/03/16

2015:6./ 568p
978-4-622-07880-7

¥7,150 [税込]



世界への信頼と希望、そして愛〜アーレント『活動的生』から考える〜

林大地 著

みすず書房

ハンナ・アーレントの主著「活動的生」について、「世界」概念を主軸に、労働・制作・行為などのキーワードとともに、死・可死性・不死性・記憶・忘却といった視座から読み解く。アーレントの著作全体の核心に近づく試論。

日本経済新聞 2024/03/16

2023:12./ 424p
978-4-622-09666-5

¥4,180 [税込]





現代アートを続けていたら、いつのまにかマタギの嫁になっていた～マタギ村・山熊田の四季～

大滝 ジュンコ 著
山と溪谷社

現代アート作家が山と熊と田んぼしかないマタギの村「山熊田」の自然と文化に魅かれて移住を決意し、マタギと結婚。羽越しな布の復活に向けて奮闘し…。新潟県山熊田の四季を綴った移住日記。『望星』連載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2024/03/16

2024:2./ 255p
978-4-635-33080-0

¥1,760〔税込〕



9 7 8 4 6 3 5 3 3 0 8 0 0



平和をつくる方法～ふつうの人たちのすごい戦略～

セヴリーヌ オトセール 著
柏書房

持続可能な平和を築くために有効だったのは、一般市民に力を与えることだ。地元住民主導の草の根の取り組みにこそ暴力を止めるヒントがある。20年間の学びがまつた暴力を止めて平和を始めるための実践的ガイド。

日本経済新聞 2024/03/16

2023:12./ 311p,35p
978-4-7601-5543-9

¥2,860〔税込〕



9 7 8 4 7 6 0 1 5 5 4 3 9



世界から青空がなくなる日～自然を操作するテクノロジーと人新世の未来～

エリザベス・コルバート 著
白揚社

成層圏にダイヤモンドをまいて、太陽光を反射し地球を冷やす。その結果、私たちは青空を失うことになるかもしれない。科学による自然への介入とその影響を描いた衝撃のルポルタージュ。

日本経済新聞 2024/03/16

2024:1./ 289p,17p
978-4-8269-0253-3

¥2,970〔税込〕



9 7 8 4 8 2 6 9 0 2 5 3 3



商店街の復権～歩いて楽しめるコミュニティ空間～(ちくま新書 1775)

広井 良典 著
筑摩書房

商店街のもつ新たな意味や価値に注目し、国際比較の視点や、まちづくり・交通など公共政策の観点も盛り込み、幅広い叢智を結集。未来の商店街のありようと、再生に向けた具体策を提起する。

日本経済新聞 2024/03/16、東京・中日新聞 2024/03/17

2024:2./ 376p
978-4-480-07608-3

¥1,320〔税込〕



9 7 8 4 4 8 0 0 7 6 0 8 3



俺だけレベルアップな件<01>(MFC)

DUBU (REDICE STUDIO) /Chugong 著
KADOKAWA

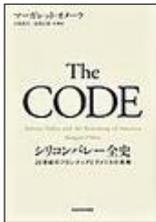
日本経済新聞 2024/03/23

2019:12./ 162p
978-4-04-064080-8

¥1,012〔税込〕



9 7 8 4 0 4 0 6 4 0 8 0 8



The CODE～シリコンバレー全史～

マーガレット・オメーラ 著
KADOKAWA

シリコンバレーはどのように築かれ、アメリカのビッグ・テックはどう形作られたのか。そして、“次のシリコンバレー”は生まれるのか。5年に及ぶ調査・取材で、70年にわたるシリコンバレーの歴史を明らかにする。

2023:12./ 672p
978-4-04-113199-2

¥4,950〔税込〕



日本経済新聞 2024/03/23



工場(新潮文庫 お-95-2)

小山田 浩子 著
新潮社

何を作っているのかわからない巨大な工場。敷地に棲む謎の動物たち…。不可思議な工場での日々を3人の従業員がそれぞれに語る表題作ほか、働くこと、生きることの不安と不条理を描いた全3篇を収録。

2018:9./ 329p
978-4-10-120542-7

¥605〔税込〕



日本経済新聞 2024/03/23



不寛容論～アメリカが生んだ「共存」の哲学～(新潮選書)

森本 あんり 著
新潮社

「不愉快な隣人」とどう付き合うか。不寛容だった植民地時代のアメリカで、異なる価値観を持つ人びとが暮らす多様性社会を築いた偏屈なピューリタンの苦闘から、そのしたたかな共存の哲学を読み解く。

2020:12./ 297p
978-4-10-603860-0

¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2024/03/23



アメリカ・イン・ザ・ワールド～合衆国の外交と対外政策の歴史～<上>

ロバート・B・ゼーリック 著
日経BP社

アメリカの戦略の本質とは？ジェファソン、リンカーン、ヘイ、ルーズヴェルト、ルート、ハル…。建国の時代から世界秩序形成の時代まで。3代の大統領の政権に参画した著者が、合衆国外交の軌跡と立役者たちの足跡を描く。

2023:9./ 503p
978-4-296-11641-6

¥4,400〔税込〕



日本経済新聞 2024/03/23



アメリカ・イン・ザ・ワールド～合衆国の外交と対外政策の歴史～<下>

ロバート・B・ゼーリック 著
日経BP社

アメリカ外交の「5つの伝統」とは？ケネディ、ニクソン、キッシンジャー、レーガン…。冷戦下での同盟システムの構築から冷戦後まで。3代の大統領の政権に参画した著者が、合衆国外交の軌跡と立役者たちの足跡を描く。

2023:9./ 507p
978-4-296-11642-3

¥4,400〔税込〕



日本経済新聞 2024/03/23



鬼とはなにか〜まつろわぬ民か、縄文の神か〜(河出文庫 と 5-5)

戸矢 学 著
河出書房新社

はたしてその正体は、まつろわぬ民であったのか、それともより古い神=縄文神なのか。鬼を神との対、怨霊との関連、山谷に駆逐された人びと、鬼門という角度などから本質的に考察し、日本人の信仰心の原像に迫る。

日本経済新聞 2024/03/23

2024:3./ 217p
978-4-309-42089-9
¥880 [税込]



上昇〜アメリカは再び<団結>できるのか〜

シェイリン・ロムニー・ギャレット／ロバート・D・パットナム 著
創元社

19世紀末から現在まで、個人主義と共同体主義の間で振り子のように揺れていたアメリカ社会。多領域に共通して見られる、100年にわたる大きな変化のカーブを、独創的なデータ分析をもとに検証し、未来への展望を探求する。

日本経済新聞 2024/03/23

2023:7./ 461p
978-4-422-36014-0
¥4,950 [税込]



東京漫才全史(筑摩選書 0270)

神保 喜利彦 著
筑摩書房

定説を覆す東京漫才の始まりから、戦後のメディアと連動した復興、爆笑問題、ナイツの活躍まで。東京漫才に焦点を当て、漫才の源流にまで遡り、その発生と栄枯盛衰を通説の誤解を正しつつ記した、東京漫才通史。

日本経済新聞 2024/03/23

2023:12./ 404p
978-4-480-01785-7
¥2,310 [税込]



新しい階級闘争〜大都市エリートから民主主義を守る〜

マイケル・リンド 著
東洋経済新報社

戦後実現した「民主的多元主義」の安定した政治は、1970年代に始まった新自由主義に基づく「上からの革命」の影響を受け、機能不全に陥った。国民統合が揺らぎ、分断が深刻化した米国で、どう分断を解消するかを論じる。

日本経済新聞 2024/03/23

2022:12./ 268p,23p
978-4-492-44471-9
¥2,200 [税込]



「社会主義化」するアメリカ〜若者たちはどんな未来を描いているのか〜

瀬能 繁 著
日本経済新聞出版社

近年、米国で資本主義や経済社会システムのゆがみを是正しようと「社会主義」に傾倒する若者が急増し、力を発揮しつつある。米国の社会主義者の実像に触れながら、経済社会の地殻変動の現場を描く。

日本経済新聞 2024/03/23

2021:10./ 259p
978-4-532-35902-7
¥2,640 [税込]





恐るべき緑(エクス・リブリス)

ベンハミン・ラバトゥッツ 著
白水社

塩素ガスの開発者、科学史上初めてブラックホールの存在を示唆した天文学者…。科学の常識を塗り替えた学者たちの奇妙な人生と、それぞれに訪れた発見/啓示の瞬間を描いた、チリの新鋭による奇天烈な科学者列伝。

日本経済新聞 2024/03/23

2024:2./ 196p
978-4-560-09090-9

¥2,750〔税込〕



「劇場国家」北朝鮮～カリスマ権力はいかに世襲されたのか～(サピエンティア 72)

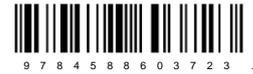
権憲益、鄭炳浩 著
法政大学出版局

北朝鮮が日本の植民地支配の苦痛と抵抗の歴史を再創造して政治体制の正統性を構築し、米国に対抗しながら、劇場的権力の演出を通じてカリスマ権力支配と政治的世襲を正当化してきた過程を検討する。

日本経済新聞 2024/03/23

2024:1./ 334p
978-4-588-60372-3

¥3,740〔税込〕



語れ、内なる沖縄よ～わたしと家族の来た道～

エリザベス・ミキ・ブリナ 著
みすず書房

沖縄出身の母とベトナム帰還兵の白人の父を持つアメリカ人女性が、長く遠ざけてきた沖縄を訪れ、その歴史をたどりながら自身のルーツに向き合う。自身の半生と沖縄の歴史を織り交ぜてつづる回想記。

日本経済新聞 2024/03/23

2024:2./ 352p
978-4-622-09668-9

¥3,960〔税込〕



WEIRD「現代人」の奇妙な心理～経済的繁栄、民主制、個人主義の起源～<上>

ジョセフ・ヘンリック 著
白揚社

西洋化した現代人の奇妙な心理はいかに生まれたのか？現代世界のあり方を方向づけた WEIRD な心理を軸に、市場経済や民主主義、科学の発達を読み解き、先進国発展の要因を探る。上は、WEIRD な人々の起源などを収録。

日本経済新聞 2024/03/23

2023:12./ 429p
978-4-8269-0254-0

¥3,410〔税込〕



WEIRD「現代人」の奇妙な心理～経済的繁栄、民主制、個人主義の起源～<下>

ジョセフ・ヘンリック 著
白揚社

西洋化した現代人の奇妙な心理はいかに生まれたのか？現代世界のあり方を方向づけた WEIRD な心理を軸に、市場経済や民主主義、科学の発達を読み解き、先進国発展の要因を探る。下は、現代世界の誕生などを収録。

日本経済新聞 2024/03/23

2023:12./ 445p
978-4-8269-0255-7

¥3,410〔税込〕





散歩哲学～よく歩き、よく考える～(ハヤカワ新書 021)

島田 雅彦 著
早川書房

忙しさにかまける現代人に必要なのは、ほっつき歩きながら考える「散歩哲学」だ！
散歩を愛する作家・島田雅彦が、新橋の角打ちから屋久島の超自然、ヴェネチアの魚市場まで歩き綴ったエッセイ。

日本経済新聞 2024/03/23、朝日新聞 2024/03/30

2024:2./ 221p
978-4-15-340021-4

¥1,078 [税込]



統帥権の独立～帝国日本「暴走」の実態～(中公選書 146)

手嶋泰伸 著
中央公論新社

帝国陸海軍の作戦行動の指揮・決定権限である統帥権の「独立」は大日本帝国崩壊の最大要因とされてきた。元老らはなぜ「独立」を支持したのか、明治期からアジア・太平洋戦争の敗北まで通史のなかで描く。

日本経済新聞 2024/03/23、東京・中日新聞 2024/03/24、読売新聞 2024/03/31

2024:2./ 8p,234p
978-4-12-110147-1

¥1,870 [税込]



大楽必易～わたくしの伊福部昭伝～

片山 杜秀 著
新潮社

1954年、「ゴジラ」のテーマは日本の映画音楽に革命を起こした。あの旋律が、なぜ幼児の心までも驚嘆みにするのか？ アジアと西欧を超克した作曲家・伊福部昭の、波乱万丈の91年を直話で辿る評伝。

日本経済新聞 2024/03/23、読売新聞 2024/03/24、毎日新聞 2024/03/30

2024:1./ 363p
978-4-10-339712-0

¥2,970 [税込]



蜘蛛

にやるら 著
講談社

孤独感を抱える少女「かな」の息抜きは、巨大 SNS で知り合ったアニメアイコンたちとの非生産的な飲み会だけ。しかし、これまで会った誰よりも儂く、知性的で、美しい「あめ」と出会い…。平凡という呪いに苦しむ少女の物語。

日本経済新聞 2024/03/23、毎日新聞 2024/03/23

2024:2./ 219p
978-4-06-534832-1

¥1,815 [税込]



戦後憲法史と並走して～学問・大学・環海往還～

樋口 陽一、蟻川 恒正 著
岩波書店

近代立憲主義への洞察にもとづく鋭い問題提起によって、戦後憲法学の水準を高めてきた著者が、自らの歩んだ道を語る。「個人の析出」を基礎概念とする自らの理論の形成・発展過程と、現在の到達点をも明らかにする。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:2./ 280p
978-4-00-061632-4

¥2,530 [税込]





同性婚と司法(岩波新書 新赤版 2008)

千葉 勝美 著
岩波書店

多数派から疎外された少数者を護るのは誰か。司法の役割とは。性とは、結婚とは、平等とは。「個人の尊厳」とは何か。元最高裁判事が安全圏から一步踏み出し、「同性婚を認めない法制度は憲法違反か?」という問いに挑む。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:2./ 218p
978-4-00-432008-1

¥1,012 [税込]



君の背中に見た夢は

外山 薫 著
KADOKAWA

新田茜は従姉妹さやかの影響で、中学受験回避のための小学校受験に興味を持つ。仕事と家庭の両立、協力してくれない夫、かさんでいく教育費、思い通りにならない子供たち。茜はどんどん小学校受験にのめり込んでいき...

日本経済新聞 2024/03/30

2024:1./ 293p
978-4-04-737819-3

¥1,760 [税込]



孟子〜全訳注〜(講談社学術文庫 2534)

講談社

中国の戦国時代に諸侯に遊説した孟子。死後その志は門人により思想書に編纂された。王のあり方、人の心がけること、理想の国家、性善説...。儒教の教えの根幹を伝える「孟子」の原文、読み下し文、現代語訳を収録。解説付き。

日本経済新聞 2024/03/30

2019:3./ 496p
978-4-06-514311-7

¥1,859 [税込]



古代日本の超技術〜あっと驚く「古の匠」の智慧〜 新装改訂版(ブルーバックス B-2249)

志村 史夫 著
講談社

五重塔はなぜ倒れないのか? 現代のハイテクを知り尽くす実験物理学者が、日本が誇る古代の工匠たちの驚異の技の謎を解く。「古代世界の超技術」の姉妹編。前方後円墳の形についての考察などを加筆した新装改訂版。

日本経済新聞 2024/03/30

2023:12./ 286p
978-4-06-534289-3

¥1,210 [税込]



わたしは異国で死ぬ

カラニ・ピックハート 著
集英社

ウクライナ系米国人医師カーチャ、チョルノービリ原発近郊出身の鉱山技術者ミーシャ、青い髪の活動家スラヴァ...。冬のウクライナ、首都キーウで、過去を抱えた人々の運命が交錯する、喪失と、希望への物語。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:1./ 379p
978-4-08-773526-0

¥2,640 [税込]





ポートレート・イン・ジャズ(新潮文庫)

村上 春樹 著
新潮社
日本経済新聞 2024/03/30

2004:1./ 341p
978-4-10-100153-1
¥1,100 [税込]



黒澤明の羅生門～フィルムに籠めた告白と鎮魂～

ポール・アンドラ 著
新潮社

ヴェネツィアとアカデミー賞を制し、「世界のクロサワ」を決定付けた「羅生門」。そのストーリーと演出、セットには監督の悲痛な肉声が重層的に刻まれていた。コロンビア大学教授による画期的なクロサワ論。

日本経済新聞 2024/03/30

2019:5./ 301p
978-4-10-507111-0
¥2,750 [税込]



マッカーサー～20世紀アメリカ最高の軍司令官なのか～(中公選書 144)

リチャード・B・フランク 著
中央公論新社

敗戦後の日本に、連合国軍最高司令官として降り立ったマッカーサーはどんな人物なのか。「天才的な軍人」でもなく、「中身のない大法螺吹き」でもない、生身の人間としての像を浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:1./ 16p,333p
978-4-12-110145-7
¥2,530 [税込]



十津川警部 雪と戦う 改版新装版(中公文庫 に7-76)

西村京太郎 著
中央公論新社

何者かが旧天城トンネルを爆破。犯人を目撃した女子大生が刺殺され、湯沢のスキー場ではゴンドラが爆発した。一連の事件を大型犯罪の予行演習と推理し、越後湯沢に急行した十津川警部を待っていたのは犯行予告だった…。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:1./ 293p
978-4-12-207472-9
¥836 [税込]



細胞～生命と医療の本質を探る～<上>

シッタールタ・ムカジー 著
早川書房

顕微鏡による発見の数々から、感染症やがんとの苦闘、脳の仕組みの解明、最新の遺伝子治療まで、「細胞」からヒトそして生命の本質に迫ろうとしてきた人類の歩みを鮮やかに描くノンフィクション。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:1./ 332p
978-4-15-210300-0
¥2,750 [税込]





細胞～生命と医療の本質を探る～<下>

シッダールタ・ムカジー 著

早川書房

顕微鏡による発見の数々から、感染症やがんとの苦闘、脳の仕組みの解明、最新の遺伝子治療まで、「細胞」からヒトそして生命の本質に迫ろうとしてきた人類の歩みを鮮やかに描くノンフィクション。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:1./ 314p
978-4-15-210301-7

¥2,750〔税込〕



クリエイターワンダーランド～不思議の国のエンタメ革命とZ世代のダイナミックアイデンティティ～

中山 淳雄 著

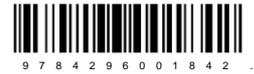
日経B P社

ウソと本当の世界を自在に行き来する手段を得たZ世代は、旧世代とはまるで違う行動原理を持つ。VTuber、ライバー、ゲーム実況、なろう系など、Z世代のエンタメ受容行動を分析しつつ、日本社会の変化について論じる。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:2./ 334p
978-4-296-00184-2

¥2,200〔税込〕



2040年の日本(幻冬舎新書 の-3-2)

野口 悠紀雄 著

幻冬舎

20年後の2040年、いまと同じ社会が続いていると無意識に考えていないか。未来を正しく理解し、変化に備えよ! 60年近く日本の未来を考え続けてきた著者が、経済、医療、テクノロジーなど幅広い分野について言及する。

日本経済新聞 2024/03/30

2023:1./ 310p
978-4-344-98683-1

¥1,078〔税込〕



映画監督野村芳太郎私論

西松 優 著

ブイツーソリューション

名作「砂の器」を撮った野村芳太郎監督とはどんな人物だったのか。映画界や彼が属していた映画会社の動向を追いながら、会社の中で与えられた役割や位置づけの中で、野村監督が何を考え、どう生きていったかを描く。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:1./ 221p
978-4-434-32932-6

¥1,100〔税込〕



愛の絵(PHP新書 1378)

中野 京子 著

PHP研究所

西洋美術史でも重要なテーマであり、各時代、さまざまな形で表現されている「愛」。喜び、幸福、満足感のみならず、呪いや嫉妬、怒りをもうむ「愛」を描いた名画52点を読み解く。『PHPスペシャル』連載を加筆修正。

日本経済新聞 2024/03/30

2023:12./ 203p
978-4-569-85613-1

¥1,210〔税込〕





本のある空間採集～個人書店・私設図書館・ブックカフェの寸法～

政木 哲也 著
学芸出版社

世界地図を体現したギャラリー型書架、一箱本棚でつくる商店街の図書館…。全国の個人書店・私設図書館・ブックカフェなど、様々な「本のある空間」を訪ねて実測。斜め上から見下ろすアイソメ図とともに紹介する。

日本経済新聞 2024/03/30

2023:8./ 190p
978-4-7615-2861-4

¥2,750〔税込〕



さようなら!福沢諭吉～日本の「近代」と「戦後民主主義」の問い直し～

安川 寿之輔、雁屋 哲、杉田 聡 著
花伝社

「戦争ができる国」になろうとしている今、日本近代化の原点に立つ福沢諭吉は民主主義者か侵略主義者か? 戦後民主主義を担った知識人による世紀の福沢誤読を正す。雁屋哲の漫画「2年C組特別勉強会福沢諭吉」の一部を収録。

日本経済新聞 2024/03/30

2016:3./ 117p
978-4-7834-0769-6

¥1,100〔税込〕



日中韓のゲーム文化論～なぜ、いま<東アジア・ゲーム批評>なのか～

楊 駿驍/鄧 劍/松本 健太郎 編
新曜社

いまや世界中が「ゲーム化」している。そのなかで日本、中国、韓国のゲーム文化は独特の存在感を持ち、批評も独自の発展を遂げてきた。それらの優れたゲーム批評を集成し、「東アジアのゲーム文化」を展望する。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:3./ 392p
978-4-7885-1836-0

¥4,950〔税込〕



生ける死者の震災靈性論～災害の不条理のただなかで～

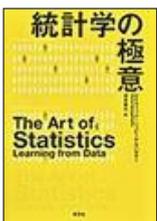
金菱 清 著
新曜社

なぜ震災の被災者が自らを罪深いと思うのか、亡き人を思い、なぜ深い後悔に涙するのか。幽霊や夢に仮託しているのは何か。人知れず孤立し、苦しみ続ける被災者への綿密なフィールドワークを通じ、実存から立ち上げる靈性論。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:3./ 5p,197p
978-4-7885-1842-1

¥2,530〔税込〕



統計学の極意

デイヴィッド・シュピーゲルハルター 著
草思社

元・英国統計学会会長による統計学入門書。データサイエンス時代に対応するため、旧来の統計学の教え方・学び方を刷新。必要最小限の数式、興味深く具体的な実例、豊富な図表を用いて、統計学の極意をわかりやすく教える。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:2./ 422p
978-4-7942-2692-1

¥3,080〔税込〕





2040年「仕事とキャリア」年表～Future Prediction～

植田 統 著
三笠書房

2025年に大リストラ時代の幕が開け、2043年には日本からサラリーマンが消滅する!? 今後20年の「仕事とキャリア」を大胆予測。日本でも始まるアメリカのジョブ型雇用を紹介し、日本の雇用の問題点を明らかにする。

日本経済新聞 2024/03/30

2022:1./ 229p
978-4-8379-2884-3

¥1,540〔税込〕



カーイ・フェチ/来て踊ろう～日本におけるセネガルのサバールダンス実践～

菅野淑 著
春風社

セネガルの路上やナイトクラブで踊られるダンス「サバール」。複雑な太鼓のリズムにあわせたダイナミックなこの踊りが、なぜ日本で実践されるに至っているのか。その経緯と実際の様子を、体験と現地調査を通して描出する。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:2./ 296p,10p
978-4-86110-885-3

¥3,850〔税込〕



寒気氾濫～歌集～(現代短歌クラシックス 08)

渡辺松男 著
書肆侃侃房

橋として身をなげだしているものへ秋分の日雲の影過ぐ ささやきのごとくに若葉揺れあいて樹々の秘密はあかるかりけり ほんとうは迷えもしない人生をひととき巨大迷路に遊ぶ 素朴に度ましく天真爛漫な作品をまとめた歌集。

日本経済新聞 2024/03/30

2021:9./ 165p
978-4-86385-482-6

¥1,760〔税込〕



書いてはいけない～日本経済墜落の真相～

森永 卓郎 著
フォレスト出版

「ジャニーズの性加害」「財務省のカルト的財政緊縮主義」「日本航空123便の墜落事件」…。四半世紀に及ぶメディア活動で見聞きしてきた“3つのタブー”に挑み、その背景に存在する真相を描き出す。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:3./ 203p
978-4-86680-936-6

¥1,650〔税込〕



いま沖縄をどう語るか～ジャーナリズムの現場から～(叢書・沖縄を知る)

新崎 盛吾/松元 剛/謝花 直美/佐古 忠彦/鎌倉 英也 著
高文研

沖縄を見守り、記録し、訴え続けてきたジャーナリストたちが、沖縄の現実、さらにはこの国のありようを、報道の現場から伝える。法政大学沖縄文化研究所創立50周年記念シンポジウムの内容をベースに書籍化。

日本経済新聞 2024/03/30

2024:2./ 197p
978-4-87498-871-8

¥1,980〔税込〕





おかしゅうて、やがてかなしき〜映画監督・岡本喜八と戦中派の肖像〜(集英社新書 集英社新書ノンフィクション 1198)

前田 啓介 著
集英社

戦中派の心情をそこかしこに込めた映画を撮り続けた職人肌の監督として知られる岡本喜八。新たに発掘された若き日の日記をひも解きつつ、その実像を通して戦中派の心情に迫るノンフィクション。

日本経済新聞 2024/03/30、東京・中日新聞 2024/03/31

2024:1./ 404p
978-4-08-721298-3

¥1,485 [税込]



9 78 4 08 7 2 1 2 9 8 3



福澤諭吉〜幻の国・日本の創生〜

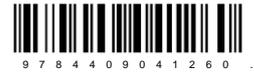
池田 浩士 著
人文書院

福澤諭吉とは何だったのか。“国家の羅針盤”としての役割を果たした彼の思想と実践は、社会と人間をどこへ導いたのか。福澤諭吉の原文の言葉に向き合うことで、その思想と実践をあらたに問い直し、功罪を問う。

日本経済新聞 2024/03/30、東京・中日新聞 2024/03/31

2024:1./ 367p
978-4-409-04126-0

¥5,060 [税込]



9 78 4 40 9 0 4 1 2 6 0



吉田松陰の生涯〜猪突猛進の三〇年〜(歴史文化ライブラリー 586)

米原 謙 著
吉川弘文館

幕末長州で松下村塾を開き、明治の指導者を多数輩出した吉田松陰は、本当に開明的だったのか？ 偉人として顕彰される陰で、負の側面は看過されてきた松陰の思想形成や言動を冷静に捉えて歴史の中に位置づけ、短い生涯を辿る。

日本経済新聞 2024/03/30、東京・中日新聞 2024/03/31

2024:2./ 8p,309p
978-4-642-05986-2

¥2,200 [税込]



9 78 4 64 2 0 5 9 8 6 2



生物から見た世界(岩波文庫 青 943-1)

ユクスキュル、クリサート 著
岩波書店

甲虫の羽音とチョウの舞う、花咲く野原へ出かけよう。生物たちが独自の知覚と行動でつくりだす〈環世界〉の多様さ。この本は動物の感覚から知覚へ、行動への作用を探り、生き物の世界像を知る旅にいざなう。

毎日新聞 2024/03/02

2005:6./ 166p
978-4-00-339431-1

¥858 [税込]



9 78 4 00 3 3 9 4 3 1 1



ナカスイ!〜海なし県の海洋実習〜<2>

村崎なぎこ 著
祥伝社

栃木県立那珂川水産高校の食品加工コースに通う2年の鈴木さくらは、海洋実習先の茨城県立那珂湊海洋高校の関清斗に一目惚れした。関の両親がデパートの水産加工食品フェアに出ると知れば、自らも出店を画策。ところが...

毎日新聞 2024/03/02

2023:12./ 299p
978-4-396-63657-9

¥1,870 [税込]



9 78 4 39 6 6 3 6 5 7 9



穴持たずども(ロシア語文学のミノタウロスたち No03)

ユーリー・マムレーエフ 著

白水社

1960年代のモスクワ郊外。殺人を重ねながら魂や死、彼岸の世界を追求するフォードルがねぐらとする共同住宅には異常者たちが住まっている。神秘主義やエゾテリスムを湛えるソ連地下文学の巨匠の怪作。

毎日新聞 2024/03/02

2024:1./ 304p
978-4-560-09392-4

¥4,180 [税込]



親切で世界を救えるか～ぼんやり者のケア・カルチャー入門～

堀越 英美 著

太田出版

「ケア」=抑圧的で退屈でつまらない。虚無と冷笑の時代を終わらせ、「ケア」できる人=「かっこいい」の時代へ。現代のポップカルチャーを通して、ケアとは何かを考える。『OHTABOOKSTAND』連載他に加筆・修正。

毎日新聞 2024/03/02

2023:12./ 249p
978-4-7783-1902-1

¥2,090 [税込]



矛盾の水害対策～公共事業のゆがみを川と森と人のいとなみからただす～

谷 誠 著

新泉社

川の氾濫による水害を取り上げ、江戸時代以降の水害対策の歴史から現行の河川整備事業の抱える問題点を整理し、国と利害関係者の対立が固定化した理由を考察。最新の水文学の成果も紹介し、望ましい水害対策の基本を提案する。

毎日新聞 2024/03/02

2023:12./ 277p
978-4-7877-2315-4

¥2,750 [税込]



飽食以前～イモと雑穀の民俗～

野本寛一 著

柊風舎

先人たちの体験や伝承から見えてくる、本当の豊かさとは？高度経済成長期以前の日本人の、環境に応じて食いつぎのための知恵とくふうの数々を伝え、気候変動の脅威や食品ロスの時代に持続可能な自然と人の関係を見つめ直す。

毎日新聞 2024/03/02

2024:1./ 635p
978-4-86498-105-7

¥9,350 [税込]



シモーヌ・ヴェイユ「歓び」の思想

鈴木 順子 著

藤原書店

難解、孤高の聖女といったイメージが先行する哲学者・社会活動家シモーヌ・ヴェイユ。数学者の兄との対話、高校教師の仕事への情熱など、犠牲を厭わないヴェイユを支えていた“歓び”に注目し、人間味あふれるその素顔を描く。

毎日新聞 2024/03/02

2023:12./ 294p
978-4-86578-408-4

¥3,960 [税込]





村上春樹研究～サンプリング、翻訳、アダプテーション、批評、研究の世界文学～

横道 誠 著
文学通信

文学的モチーフ、文体、物語構造…。村上春樹の作品を取りまく文学的諸現象のポリフォニーをどう聴くのか。村上文学を、サンプリング、翻訳、アダプテーション、批評、研究からなる独特の世界文学的構造体として提示する。

毎日新聞 2024/03/02

2023:9./ 397p
978-4-86766-018-8

¥3,300〔税込〕



鬱の本

点滅社編集部 編
点滅社

鬱のときに読んだ本。憂鬱になると思い出す本。まるで鬱のような本…。84人が、病気の「うつ」、日常にある憂鬱、思春期の頃の鬱屈など、様々な「鬱」のかたちと「本」について綴ったエッセイ集。

毎日新聞 2024/03/02

2023:12./ 195p
978-4-9912719-3-9

¥1,980〔税込〕



科博と科学～地球の宝を守る～(ハヤカワ新書 020)

篠田 謙一 著
早川書房

創立以来「人類の共通財産」を保存・継承し続けてきた上野・国立科学博物館。人類にとって博物館とは、科学とは何か。分子人類学の第一人者にして現役の国立科学博物館長が語りつくす。クラウドファンディングの舞台裏も公開。

毎日新聞 2024/03/02、朝日新聞 2024/03/09

2024:2./ 211p
978-4-15-340020-7

¥1,056〔税込〕



ソング&セルフ～音楽と演奏をめぐって歌手が考えていること～

イアン・ポストリッジ 著
アルテスパブリッシング

ジェンダー、人種、死。歌と自己が混じりあい、音楽は啓示となる。英国を代表するテノール歌手が、「冬の旅」「女の愛と生涯」「マダガスカル島民の歌」などの作品を考察し、音楽の“隠された歴史”にせまる。

毎日新聞 2024/03/02、読売新聞 2024/03/10

2024:1./ 204p,10p
978-4-86559-288-7

¥2,860〔税込〕



化学の授業をはじめます。

ボニー・ガルマス 著
文藝春秋

1960年代アメリカ。才能ある化学者のエリザベスは未婚のシングルマザーになっとうえ失職してしまう。ひょんなことから得た仕事は料理番組の出演者。科学的に料理を説くエリザベスは意外にも視聴者の心をつかみ…。

毎日新聞 2024/03/02、読売新聞 2024/03/24

2024:1./ 535p
978-4-16-391797-9

¥2,750〔税込〕





ボヘミアンの文化史～パリに生きた作家と芸術家たち～

小倉 孝誠 著
平凡社

自由奔放で、規範に囚われず気ままな放浪生活を送る若者たち。19世紀前半パリで誕生し、「ボヘミアン」と呼ばれ、その後1世紀にわたり文学と芸術の領域で大きな意義を有した彼らの美学、思想、習俗を浮き彫りにする。

毎日新聞 2024/03/02、日本経済新聞 2024/03/09

2024:1./ 319p
978-4-582-83939-5
¥3,520〔税込〕



「むなしさ」の味わい方(岩波新書 新赤版 2002)

きたやま おさむ 著
岩波書店

自分の人生に意味はあるのか、自分に存在価値はあるのか...といった誰にでも訪れる「むなしさ」を味わうことができれば、心はもっと豊かになるかもしれない。「心の空洞」の正体を探り、それとともにどう生きるかを考察する。

毎日新聞 2024/03/09

2024:1./ 208p
978-4-00-432002-9
¥1,012〔税込〕



悪なき殺人(新潮文庫 ニ-4-1)

コラン・ニエル 著
新潮社

吹雪の夜、フランス山間の町でひとりの女性が殺害された。事件に関係していたのは4人の男女。それぞれの報われぬ愛への執着を描く物語は、遠くアフリカに住むロマンス詐欺師の青年の物語と結びつき...。心理サスペンス。

毎日新聞 2024/03/09

2023:11./ 388p
978-4-10-240351-8
¥935〔税込〕



シャーロック・ホームズの凱旋

森見登美彦 著
中央公論新社

舞台はヴィクトリア朝京都。洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズが...まさかの大スランプ!? ホームズとワトソンはこの摩訶不思議な大迷宮(スランプ)を抜け出せるか-。『小説BOC』連載を改稿し単行本化。

毎日新聞 2024/03/09

2024:1./ 473p
978-4-12-005734-2
¥1,980〔税込〕



涙をたらした神(中公文庫 よ 47-1)

吉野 せい 著
中央公論新社

詩人である夫とともに、阿武隈山麓の開墾者として生きた女性の年代記。ときに残酷なまでに厳しい自然、弱くも逞しくもある人々のすがた、夫との愛憎などを、質実かつ研ぎ澄まされたことばでつづる。

毎日新聞 2024/03/09

2012:11./ 233p
978-4-12-205727-2
¥691〔税込〕





エラスムス闘う人文主義者(筑摩選書 0271)

高階 秀爾 著

筑摩書房

宗教改革の狂乱の時代に、理性の普遍性と自由な精神を信じ続けたエラスムス。派閥に属さない知性的な態度や人間味あふれる魅力的な人柄、「世界市民」としての生き方を、西欧文化を知悉する著者が憧憬をこめて描き出す。

毎日新聞 2024/03/09

2024:1./ 218p
978-4-480-01790-1

¥1,760〔税込〕



フォルモサ・イデオロギー～台湾ナショナリズムの勃興 1895-1945～

呉叡人 著

みすず書房

日清戦争後、51年にわたり日本の植民地支配下に置かれた台湾。その<東洋的植民地主義>の下で、台湾人はいかにして自らをネーションの政治的形式を想像し、そこに文化的内容を付与していったのか。その葛藤的過程を描く。

毎日新聞 2024/03/09

2023:10./ 536p
978-4-622-09649-8

¥6,050〔税込〕



分断されないフェミニズム～ほどほどに、誰かとつながり、生き延びる～

荒木 菜穂 著

青弓社

「女カースト」に基づく「子なし」女性の劣等感、母親と独身女性がともに忌み嫌うミソジニーな風潮…。分断させられる女性同士の関係性をフェミニズムの視点から論じ、女性のつながりのあり方を再考する。

毎日新聞 2024/03/09

2023:12./ 226p
978-4-7872-3529-9

¥2,640〔税込〕



サンミュージックなお笑いの夜明けだったよ!～付き人から社長になった男の物語～

岡博之 著

晶文社

「吉本のお笑い」が本格上陸する前夜、「東京のお笑い」を育てた男がいた。日本初のお笑いライブ開催から、サンミュージックで「一発屋製造工場」を立ち上げるまでの抱腹絶倒の半生を綴る。

毎日新聞 2024/03/09

2023:11./ 347p
978-4-7949-7393-1

¥1,760〔税込〕



脳を開けても心はなかった～正統派科学者が意識研究に走るわけ～

青野由利 著

築地書館

ノーベル賞科学者に代表される正統派科学者が、脳と心の問題にハマるのはなぜか。意識研究に挑んできた世界の天才・秀才科学者たちの心の内を、科学ジャーナリストがインタビューや資料から読み解く。

毎日新聞 2024/03/09

2024:2./ 275p
978-4-8067-1660-0

¥2,640〔税込〕





藤谷千明 推し問答!あなたにとって「推し活」ってなんですか?(TOKYO NEWS MOOK 通巻 1122号)

藤谷 千明 著

東京ニュース通信社

好き=消費? 「推しは尊い」は宗教? ジャニオタ、ホスト、K-POP…。いろんな沼にハマった12人のオタク女性と、オタク歴4半世紀以上の著者が、「推し」について語り合う。『TV Bros.』連載等を書籍化。

毎日新聞 2024/03/09

2024:2./ 253p
978-4-86701-763-0

¥1,650〔税込〕



9 78 4867 017630



世界

junaida 著

福音館書店

これは、はじまりとおわりの物語-。鮮やかな色彩の中に明るさと闇が共存する不思議な世界観が注目を集める junaida がおくる「絵を読む絵本」。後ろ見返しに、上下に開き作品の全体像がわかる大判の絵あり。

毎日新聞 2024/03/09、産経新聞 2024/03/17

2024:1./ 33p
978-4-8340-8747-5

¥2,860〔税込〕



9 78 4834 087475



大江健三郎論~怪物作家の「本当ノ事」~(光文社新書 1296)

井上隆史 著

光文社

大江健三郎とは何者だったのか。「奇妙な仕事」「飼育」「万延元年のフットボール」「晩年様式集」など、代表作を初期から順に読み進めることで、「民主主義者」「平和主義者」としての大江像に再考を迫る。

毎日新聞 2024/03/09、産経新聞 2024/03/24

2024:2./ 324p
978-4-334-10223-4

¥1,100〔税込〕



9 78 4334 102234



デヴィッド・ストーン・マーティンの素晴らしい世界

村上 春樹 著

文藝春秋

ジャズの黄金時代に数多くのジャケット・デザインを手がけたデヴィッド・ストーン・マーティン。彼がデザインしたレコードを蒐集してきた村上春樹が、所有する188盤をオールカラーで紹介し、ジャズへの想いを自由に語る。

毎日新聞 2024/03/09、日本経済新聞 2024/03/30、東京・中日新聞 2024/03/31

2024:2./ 157p
978-4-16-391809-9

¥2,530〔税込〕



9 78 4163 918099



失敗のクィアアート~反乱するアニメーション~

ジャック・ハルバースタム 著

岩波書店

失敗や敗北を恐れ、成功や成長のみを追求する社会からの脱出口はどこにあるのか。ピクサーに代表される CGI アニメーションから前衛アートまで、<低俗>と<高尚>とを自由に横断し、「クィアな生き方」の可能性を読み解く。

毎日新聞 2024/03/16

2024:2./ 344p
978-4-00-061631-7

¥3,960〔税込〕



9 78 4000 0616317



みなさんのおかげです〜木梨憲武自伝〜

木梨 憲武 著
小学館

祖師谷・木梨サイクルの幼少期。新宿中央公園でのネタ合わせ。駆け上ったテレビのスターダム。テレビバラエティの栄枯盛衰。愛妻・安田成美。盟友・石橋貴明との本当の関係…。木梨憲武が還暦を期に書き下ろした自叙伝。

毎日新聞 2024/03/16

2024:1./ 319p
978-4-09-389111-0

¥2,200 [税込]



老人と海(新潮文庫 へ-2-4)

アーネスト・ヘミングウェイ 著
新潮社

84 日間の不漁に見舞われた老漁師は、ひとり小舟で海へ出た。やがてその釣網に、大物の手応えが。見たこともない巨大カジキとの死闘を繰り広げた老人に、海はさらなる試練を課すのだが…。世界文学の金字塔を新訳。

毎日新聞 2024/03/16

2020:7./ 191p
978-4-10-210018-9

¥572 [税込]



ジェンダー・クライム

天童 荒太 著
文藝春秋

土手下に転がされていた男性の遺体。暴行の痕が残る体には、メッセージが残されていた。「目には目を」なんと男の息子は、3年前に起きた集団レイプ事件の加害者だった…。『オール讀物』連載に加筆、修正。

毎日新聞 2024/03/16

2024:1./ 327p
978-4-16-391794-8

¥1,870 [税込]



アーサー・マッケン自伝

アーサー・マッケン 著
国書刊行会

怪奇幻想文学の巨匠、アーサー・マッケンの2つの自伝「遠つ世のこと」と「遠近草」を翻訳。自伝文学中有数の傑作と評される、夢見る魂が綴った、小説より夢幻的な自叙伝。解説・年譜付き。

毎日新聞 2024/03/16

2023:12./ 370p
978-4-336-07595-6

¥4,950 [税込]



近代日本メディア議員列伝<5> 中野正剛の民権

白戸 健一郎 著
創元社

明治から戦後にかけて<政治のメディア化>を体現したメディア議員を深掘りする。5は、自ら命を絶つまで公然と東條批判を繰り返した稀代の雄弁家・中野正剛の、言論と政治の関係を問う。

毎日新聞 2024/03/16

2023:12./ 409p
978-4-422-30105-1

¥2,970 [税込]





漫画家が見た百年前の西洋～近藤浩一路『異国膝栗毛』の洋行～(筑摩選書 0273)

和田 博文 著
筑摩書房

漫画記者として活躍した近藤浩一路は、1920年代の西洋を初めて訪れる。異国を訪れる旅が「洋行」と呼ばれた時代の異文化体験はどのようなものだったのかを再体験する。ウィットに富んだ漫画も多数掲載。

毎日新聞 2024/03/16

2024:2./ 231p,6p
978-4-480-01792-5

¥1,870〔税込〕



9 78 44 80 01 79 25



一気にわかる!池上彰の世界情勢<2024> ガザ紛争、ウクライナ戦争で分断される世界編

池上彰 著
毎日新聞出版

中東情勢、ウクライナ、支援疲れ…。憎しみや対立が深まる世界の中で日本はどうするべきか? 複雑に絡み合う各国の思惑を、池上彰がわかりやすく解説する。『毎日小学生新聞』連載記事を加筆修正。

毎日新聞 2024/03/16

2024:1./ 221p
978-4-620-32799-0

¥1,100〔税込〕



9 78 46 20 32 79 90



非凡の人三田平凡寺～趣味家集団「我楽他宗」の磁力～

チャブコヴァー・ヘレナ 編
荒俣 宏/安藤 礼二/夏目 房之介/藤野 滋/熊野 一紗/ソルター・レベッカ 著

かもがわ出版

身方も性別も国籍の壁も軽々と越え、文化ネットワーク「我楽他宗」を創設した三田平凡寺。大正昭和の奇人の実像に、孫である夏目房之介をはじめ、荒俣宏、安藤礼二らが迫る。本体は背表紙なし糸綴じ。

毎日新聞 2024/03/16

2024:1./ 269p
978-4-7803-1308-6

¥3,960〔税込〕



9 78 47 80 31 30 86



学徒出陣 80年目のレクイエム～還らざる学友たちへ～

一橋いしぶみの会 編
セルバ出版

学徒出陣 80年目の節目の年にあたり、1943(昭和 18)年 12 月以降に東京商科大学(現在の一橋大学)から、学業半ばで軍隊に入隊し斃れた戦没出陣学徒の個人史をまとめる。

毎日新聞 2024/03/16

2024:2./ 279p
978-4-86367-862-0

¥2,420〔税込〕



9 78 48 63 67 86 20



埃だらけのすももを売ればよい〜ロシア銀の時代の女性詩人たち〜

高柳聡子 著
書肆侃侃房

詩集とはある世界観の具現であった。ロシア文学におとずれた興隆期「銀の時代」(1890〜1920年代)。ペテルブルクの本屋で偶然見つけた詩集を手がかりに、100年前の15人の女性詩人たちのことばを拾い上げる。

毎日新聞 2024/03/16

2024:2./ 181p
978-4-86385-604-2

¥2,200〔税込〕



汚穢のリズム〜きたなさ・おぞましさの生活考〜

酒井 朋子、奥田 太郎、中村 沙絵、福永 真弓 著
左右社

雑草、害虫、ゴミ、悪臭・腐臭、死、排泄、にごり、汚染…。<汚穢>を避けようとする人間の行動や経験を、人類学、倫理学、環境社会学などの視点から考察する。「汚穢の倫理」研究会のウェブサイト連載を書籍化。

毎日新聞 2024/03/16

2024:1./ 285p
978-4-86528-406-5

¥2,640〔税込〕



医療とは何か〜音・科学そして他者性〜

方波見 康雄 著
藤原書店

医療とは、病を患う人のいのちの声を聴くことである。北海道奈井江の父の医院を継ぎ、そこに生きる人々の人生を現場で見つめてきた著者が地域医療について綴る。講演も掲載。『北海道新聞』等連載を加筆・修正。

毎日新聞 2024/03/16

2024:1./ 443p
978-4-86578-400-8

¥2,970〔税込〕



つづくをたべる食堂

相馬 夕輝 著

D&DEPARTMENT PROJECT

郷土料理って、おもしろい! 都道府県別の定食をメイン料理とする渋谷「d47 食堂」のディレクターが、食堂の立ち上げからの10年と郷土料理の可能性を綴る。レシピブック、コーヒーorクッキーチケット付き。

毎日新聞 2024/03/16

2024:2./ 440p
978-4-903097-73-2

¥3,190〔税込〕



町の本屋という物語〜定有堂書店の43年〜

三砂 慶明 編
奈良 敏行 著
作品社

鳥取の定有堂書店は、いかにして地域の文化拠点となり、日本中から本好きや書店員が足を運ぶ「聖地」となっていったのか。名店の店主が折に触れつづいた言葉から、その軌跡が立ち現れる。

毎日新聞 2024/03/16、産経新聞 2024/03/17

2024:3./ 236p
978-4-86793-013-7

¥2,420〔税込〕





季節を食べる～地球の恵みを科学する～

尾池 和夫 著
淡交社

松茸の天使のリング×万葉集の茸、お焦げの原理×暮らしにおける炭…。「食べる」ことに関連した 100 の季節を地球科学者の視点から綴った、俳句×食文化×科学の融合をたのしむ異色のエッセイ。

毎日新聞 2024/03/19

2024:1./ 255p
978-4-473-04580-5

¥2,200〔税込〕



音合せ～山田榎句集～

山田榎 著
ふらんす堂

新樹光ニッポニアニッポン復活す 山といふ大緑蔭に入りゆけり 子規に律賢治にとし
子朴の花 奈良に在すわが恋仏梅白し 風神雷神大夕立がしぶき上ぐ 1995～2023 年の作品を収めた第 2 句集。

毎日新聞 2024/03/19

2023:11./ 175p
978-4-7814-1596-3

¥2,860〔税込〕



声は霧雨～富田睦子歌集～(まひる野叢書 第 401 篇)

富田 睦子 著
砂子屋書房

崩したる「ら」の字は少女のかたちして丸みにプリーツスカート纏う にほんすみれ
砂利のあいだにひとつ揺れこんなかたちの強かさもある 2018 年春から 2021 年秋ま
での 381 首を収録した第 3 歌集。

毎日新聞 2024/03/19

2023:11./ 232p
978-4-7904-1875-7

¥3,300〔税込〕



四神～句集～

蜂谷 一人 著
朔出版

薄氷風の足跡ありにけり 夏瘦や箸割りたればささくれる いづこにもなき赤電話秋の
暮 もう誰も住まぬ実家の氷柱かな 第 2 句集。俳句を動画的視点でとらえた新たな試
みも収録。

毎日新聞 2024/03/19

2024:1./ 206p
978-4-911090-04-6

¥2,750〔税込〕



「はやぶさ 2」は何を持ち帰ったのか～リュウグウの石の声を聴く～(岩波科学ライブラリー 324)

橘 省吾 著
岩波書店

小惑星リュウグウにみごと着陸し、試料の入ったカプセルを地球にもたらした探査機
「はやぶさ 2」。持ち帰られた試料の初期分析を統括した著者が、リュウグウ試料分
析の成果をわかりやすく解説する。『科学』連載を基に書籍化。

毎日新聞 2024/03/23

2024:2./ 150p
978-4-00-029724-0

¥1,650〔税込〕



人間とは何か(岩波文庫 赤 311-3)

マーク・トウェイン 著
岩波書店

老人と青年の対話の形で書かれたマーク・トウェイン晩年の著作。人間社会の理想と、現実の利己心とを対比させつつペシミスティックな人間観で読者をひきつけてゆく。

毎日新聞 2024/03/23

1973:6./ 194p
978-4-00-323113-5

¥715 [税込]



名場面の英語で味わうイギリス小説の傑作～英文読解力をみがく10講～

斎藤 兆史／高橋 和子 著
NHK出版

ブロンテ「嵐が丘」、モーム「人間の絆」…。イギリス小説の傑作を、名場面の優れた英文と濃密な文法解説を通して精読。英文の裏側にある意図にまで踏み込んだ解釈によって、作品を味わいながら英文読解力をみがく1冊。

毎日新聞 2024/03/23

2024:3./ 254p
978-4-14-035186-4

¥2,090 [税込]



ブルーフィルムの哲学～「見てはいけない映画」を見る～(NHK ブックス 1282)

吉川 孝 著
NHK出版

性行為を無修正で映した違法の映画・ブルーフィルム。多様な証言を集めてその世界を甦らせるとともに、ポルノを見る経験を現象学と「ビジョンの哲学」によって多角的に分析し、そのポジティブな可能性を明らかにする。

毎日新聞 2024/03/23

2023:11./ 318p
978-4-14-091282-9

¥1,870 [税込]



《中学生日記》のメディア史～自主性を演じるドラマ～

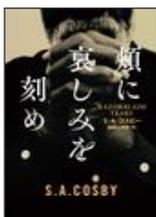
王令薇 著
創元社

40年にわたり放送されたNHK「中学生日記」。「普通」の中学生の「日常」を中継し、視聴者の自主性を引き出した、日本独特の教育番組が果たした社会的役割を歴史的に位置付け、その全体像を解明する。番組リスト付き。

毎日新聞 2024/03/23

2024:2./ 350p
978-4-422-21023-0

¥3,850 [税込]



頬に哀しみを刻め(ハーバーBOOKS M・コ3・2)

S・A・コスビー 著
ハーバーコリンズ・ジャパン

殺人罪で服役後、庭師として会社を経営する黒人のアイク。ある日、息子が白人の夫とともに顔を撃ち抜かれ、殺害された。一向に捜査が進まぬ中、息子たちの墓が差別主義者に破壊される。アイクは犯人捜しに乗り出すが…。

毎日新聞 2024/03/23

2023:2./ 493p
978-4-596-76655-7

¥1,320 [税込]





中高年の発達障害～二次障害をいきのびるための処方箋～

Hisano Hisao 著
現代書館

40代でうつ発症、50代で発達障害の診断、うつ病は発達障害の「二次障害」だった。様々な「生きづらさ」に苦しんだ著者が、自分や他人や環境と折り合いをつけて心穏やかに暮らす手法を語る。テキストデータ請求券付き。

毎日新聞 2024/03/23

2024:3./ 286p
978-4-7684-5956-0

¥2,200〔税込〕



鶴見和子と水俣～共生の思想としての内発的發展論～

Yoshiko Yoshikawa 編
藤原書店

国際的社會学者・鶴見和子は、水俣との出会いのなかで、どのように内発的發展論を育んでいったのか？「鶴見和子文庫」をひもとき、内発的發展論を「共生」の思想へと深化させた軌跡に光を当て、その批判的継承の糸口を探る。

毎日新聞 2024/03/23

2024:2./ 336p
978-4-86578-413-8

¥4,840〔税込〕



「守礼の光」が見た琉球～写真が語る－米軍統治下のプロパガンダ誌は沖縄をどう描こうとしたか～

Border Ink 編集部 編
Border Ink

本書は「ひとびとの暮らし」「冷戦下の世界と沖縄」「産業の近代化」「島の風景」「学校と社会教育」「芸能文化と娯楽」「復興と進歩」7つの章立てで構成されており、章ごとに監修者・古波藏契氏の解説コラムを収録している。

毎日新聞 2024/03/23

2024:2./ 160p
978-4-89982-458-9

¥2,640〔税込〕



アイヌもやもや～見えない化されている「わたしたち」と、そこにふれてはいけない気がしてしまう「わたしたち」の。～

Kitahara Mokotouhina 著
303 BOOKS

教科書に載っているのは、伝統的な衣装をまとった姿だけ。北海道を舞台にしたドラマにも出てこない。今を生きるアイヌの姿を、思い描くことはできるか？アイヌをとりまく「もや」の正体を、漫画を交えながら徹底考察。

毎日新聞 2024/03/23

2023:12./ 179p
978-4-909926-29-6

¥1,760〔税込〕



日本中世の非農業民と天皇<上>(岩波文庫 青 N402-2)

Amano Yoshitaka 著
岩波書店

天皇と結びつくことで諸国の自由通行権などを享受し、山野河海という境界領域に生きた中世の「職人」の姿を通じて、天皇制の本質と根深さを問う。上は、「大地と海原」への天皇の支配権とその淵源にある「本源的権利」に迫る。

毎日新聞 2024/03/30

2024:2./ 548p
978-4-00-384003-0

¥1,650〔税込〕





日本中世の非農業民と天皇<下>(岩波文庫 青 N402-3)

網野 善彦 著

岩波書店

天皇と結びつくことで諸国の自由通行権などを享受し、山野河海という境界領域に生きた中世の「職人」の姿を通じて、天皇制の本質と根深さを問う。下は、「民族史的次元」の変質を見すえ、日本社会の構造と特質を明らかにする。

毎日新聞 2024/03/30

2024:3./ 488p
978-4-00-384004-7

¥1,430 [税込]



後期中戦争華北戦線(角川新書 K-449)

広中 一成 著

KADOKAWA

太平洋戦争開戦後、日本軍は中国でどのような作戦を展開していたのか？ 華北戦線の実態を明らかにし、完全敗北へと至る軌跡と要因を描く。2021年刊「後期中戦争-太平洋戦争下の中国戦線」の続編。

毎日新聞 2024/03/30

2024:3./ 301p
978-4-04-082433-8

¥1,056 [税込]



中世の非人と遊女(講談社学術文庫)

網野 善彦 著

講談社

毎日新聞 2024/03/30

2005:2./ 290p
978-4-06-159694-8

¥1,100 [税込]



怪物に出会った日〜井上尚弥と闘うということ〜

森合 正範 著

講談社

井上と闘った誰もが、絶望を味わう。だが、やがて立ち上がり、また次の闘いへと挑んでいく。ナルバエス、エルナンデス、ドネア、河野公平…。自らの人生を賭けて「井上尚弥」と闘った男たちが、井上の強さを語る。

毎日新聞 2024/03/30

2023:10./ 438p
978-4-06-533748-6

¥2,090 [税込]



しんがりで寝ています

三浦 しをん 著

集英社

同衾するほど愛しいピカチュウのぬいぐるみや、すくすくと育つ観葉植物との日々、EXILE 一族に対する深い愛…。三浦しをんの沼にどっぷりハマる爆笑エッセイ集。『BAILA』連載他に書き下ろしを加えて単行本化。

毎日新聞 2024/03/30

2024:3./ 302p
978-4-08-790139-9

¥1,760 [税込]





DJ ヒロヒト

高橋 源一郎 著
新潮社

JRAK、こちらパラオ放送局…。謎のDJのトークが昭和史と文学史と奇想を巧みにリミックスし、ヒロヒトと南方熊楠、森鷗外ら戦前・戦中期の文化人たちとの密かな絆を謳いあげる長篇小説。『新潮』連載に加筆修正。

毎日新聞 2024/03/30

2024:2./ 645p
978-4-10-450803-7

¥4,180〔税込〕



9 784104508037



詩の中の風景〜くらしの中によみがえる〜(中公文庫 い139-2)

石垣りん 著
中央公論新社

かたくなな心に手をさしのべてくれ、暮らしの中で鏡のように光るもの。詩は自分にとって実用なことばという石垣りんが、みずみずしい感性で53人の詩篇を選び、エッセイを添える。

毎日新聞 2024/03/30

2024:2./ 265p
978-4-12-207479-8

¥946〔税込〕



9 784122074798



spring

恩田 陸 著
筑摩書房

少年は8歳でバレエに会い、15歳で海を渡った。同時代に巡り合う者たち、それぞれの情熱がぶつかりあい、交錯する中で彼の肖像が浮かび上がっていく。一人の天才をめぐる長編小説。『ちくま』掲載を単行本化。

毎日新聞 2024/03/30

2024:3./ 437p
978-4-480-80516-4

¥1,980〔税込〕



9 7844480805164



無縁・公界・楽〜日本中世の自由と平和〜 増補(平凡社ライブラリー)

網野 善彦 著
平凡社

近代から古代まで遡り、駆込寺や楽市など多様な領域に、人間の本源的自由の淵源する無縁の原理の展開をよみとる。日本歴史学の流れを捉え換えた画期的な名著。

毎日新聞 2024/03/30

1996:6./ 380p
978-4-582-76150-4

¥1,281〔税込〕



9 7844582761504



日本の名作住宅〜エレメント&ディテール〜

小泉 隆／松野尾 仁美／福山 秀親／信濃 康博／吉村 祐樹／近藤 岳志 著
学芸出版社

1928年から1974年までに建てられた、日本の名作住宅として名高い、8人の建築家による12の住宅を厳選。学生や実務者に向けて、住宅設計の学ぶべきポイントを、300点以上の写真・図面で紹介する。

毎日新聞 2024/03/30

2024:2./ 222p
978-4-7615-3298-7

¥3,520〔税込〕



9 784761532987



ロ・ギワンに会った(韓国文学セレクション)

チョ・ヘジン 著

新泉社

彼は希望を育む術と地の果てまで絶望する術を同時に鍛えなければならなかった-。
脱北者の青年ロ・ギワンの足跡を辿るなかで、失意と後悔から再生していく人びとの物語。2024年公開オンライン配信映画原作。

毎日新聞 2024/03/30

2024:2./ 217p
978-4-7877-2322-2

¥2,200 [税込]



9 7 8 4 7 8 7 7 2 3 2 2 2



古本屋台<2>

Q.B.B./久住昌之 著

本の雑誌社

夜ふけに現れる屋台。提灯には「古本」の文字。焼酎一杯 100円。夜な夜な老若男女が集まるわけは? 「孤独のグルメ」原作者・久住昌之と実弟のイラストレーター久住卓也による異色コミック。『本の雑誌』連載等を加筆修正。

毎日新聞 2024/03/30

2024:2./ 182p
978-4-86011-487-9

¥1,650 [税込]



9 7 8 4 8 6 0 1 1 4 8 7 9